

竹 介 田

広報

Taketa Public Relations

4

2013 No.97

竹田で生まれた「竹の可能性」

竹田市在住の竹藝家・中臣一とが「REVALUE NIPPON PROJECT」に参加



【バンブーシャンデリア】
中田英寿
(TAKEACTION FOUNDATION代表理事)
中臣 一 (竹藝家)
森田泰通 (デザイナー)



(c)Yusuke Nishide

伝統文化を次世代に残す目的で、中田英寿さんが立ち上げた「REVALUE NIPPON PROJECT CHARITY GALA」。2013年のテーマは「竹」。中田さん発案の「シャンデリア」を森田泰通さんがデザイン。制作を担当した中臣さんは、竹ひで2000本を使い、高さ2.4mの巨大シャンデリアを半年かけて完成させた。

世界を驚かした竹の美術品は、復興をめざす竹田、の地で生まれたのである。

「ラスト・ラン おかもと」 思いをひとつにして、笑顔でゴール!



閉校記念碑の前で、岡本小学校児童 14 名と先生一同 (3月吉日)



〔写真〕 ①「校旗返還」児童会長から校長先生、教育長へ。②会場を訪れた岡本地域住民のみなさん③児童発表 ④全員で校歌斉唱 ⑤首藤優花児童会長 ⑥「手形」の記念壁画

地域に愛された「岡本小学校」が閉校

学校は、いつまでも 心の中に生き続ける

3月3日、岡本小学校（吉野修介校長・14人）で閉校記念式典が行われ、明治26年に開校して以来、119年の長き歴史に幕を下ろしました。

竹田市立岡本小学校の閉校式典には児童や卒業生、地域住民、学校関係者ら約350人が出席しました。

閉校記念事業実行委員会の峯田義光委員長をはじめ、首藤勝次市長らが挨拶。首藤優花児童会長（6年）が児童を代表して、次のような挨拶を述べました。

「学校が閉校になることとはとても寂しいことですが、私たちの心の中にはずっと生き続けていきます。約120年間続いた伝統ある岡本小学校で学んだことを誇りに、これからも新しい環境でもみんなと協力している環境でもみんなと協力していきたく思います。私たちが育てて



4月号

ラスト・ラン 岡本小学校の軌跡

平成24年度、全校児童14名でスタートした岡本小学校は、119年の歴史の重みを感じながら「ラスト・ラン」を掲げて活動してきました。



- 1学期**
- 4月 ・始業式 ・親子お見知り遠足
 - 5月 ・いも植え
 - 6月 ・田植え
「最後の田植え、丁寧に植えました!」(写真①)
 - ・花植え ・プール開き ・竹小「瀧祭」に参加
 - 7月 ・全校しらばと集会 ・校内キャンプ



- 2学期**
- 9月 ・岡本地区・岡本小学校合同大運動会
「巨大くす玉で最後の運動会を盛り上げました! みんながベストを尽くして大成功!!」(写真②)
 - 10月 ・あすなろ平成塾出店
「呼び込み頑張りました。たくさんのお客さんが来てくれて完売でした!」(写真③)
 - ・親子遠足(うみたまご)
 - 11月 ・瀧音楽祭 ・稲刈り ・秋祭り
 - 12月 ・持久走大会 ・竹小っ子祭り
・餅つき大会
「25年も続いている餅つき大会!おいしいお餅がつき上がりました」(写真④)

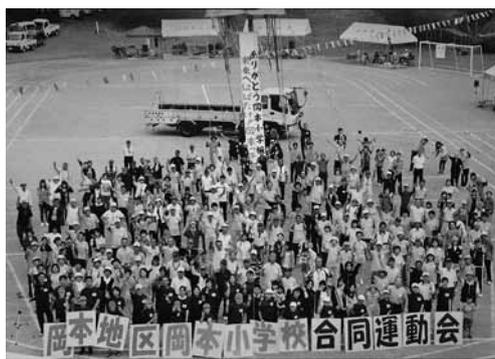


- 3学期**
- 1月 ・お鏡開き ・なわとび大会
 - 2月 ・生き物観察会 ・感謝の集い ・お別れ遠足
 - 3月 ・閉校記念式典 ・卒業式 ・終業式



「歴史とともに未来につなごう」という児童のテーマのもと、勉強、運動、児童活動、地域の行事への参加など、全力で頑張ってきたのです。

たくさんの思い出は心の中にいつまでも輝いていることでしょう。



↑この日を忘れない。岡本っ子だよ!全員集合!(H.24.9.22)

くれた岡本小学校、今までありがとうございました。そして、さようなら。」
続いて全校児童がスライドを使い、学校の歴史や地域の文化、自然の素晴らしさを発表。たくさんの思い出に感謝を込めて、出席者全員で校歌を斉唱しました。

式典終了後、グラウンドで閉校記念碑除幕式、岡本っ子と共に育つ会が主催した「春の陣祭り」が盛大に開催されました。
吉野修介校長は「地域の皆様には、これからも子どもたちを育て、見守っていただけたらと思います」と話していました。

岡本小学校はこれまでに3137人の卒業生を輩出しました。ピーク時には295人の児童が在籍をしていましたが、少子化とともに児童数は減少していきました。今年度から竹田小学校に統合します。
また、岡本小学校の校舎は岡本分館として活用され、地域交流の拠点となります。

もくじ

- 地域に愛された「岡本小学校」が閉校…2
- アレックス・カー 竹田に出会う…4
- 白洲哲学の源流を訪う…8
- 監査公表…9
- 平成25年当初予算をお知らせします…10
- 竹田市長・竹田市議会議員選挙…11
- 竹田市人事異動…12
- 市長コラム「有由有縁」第45回…14
- 竹田市先人顕彰入賞作品発表…15

別冊 たけたん情報

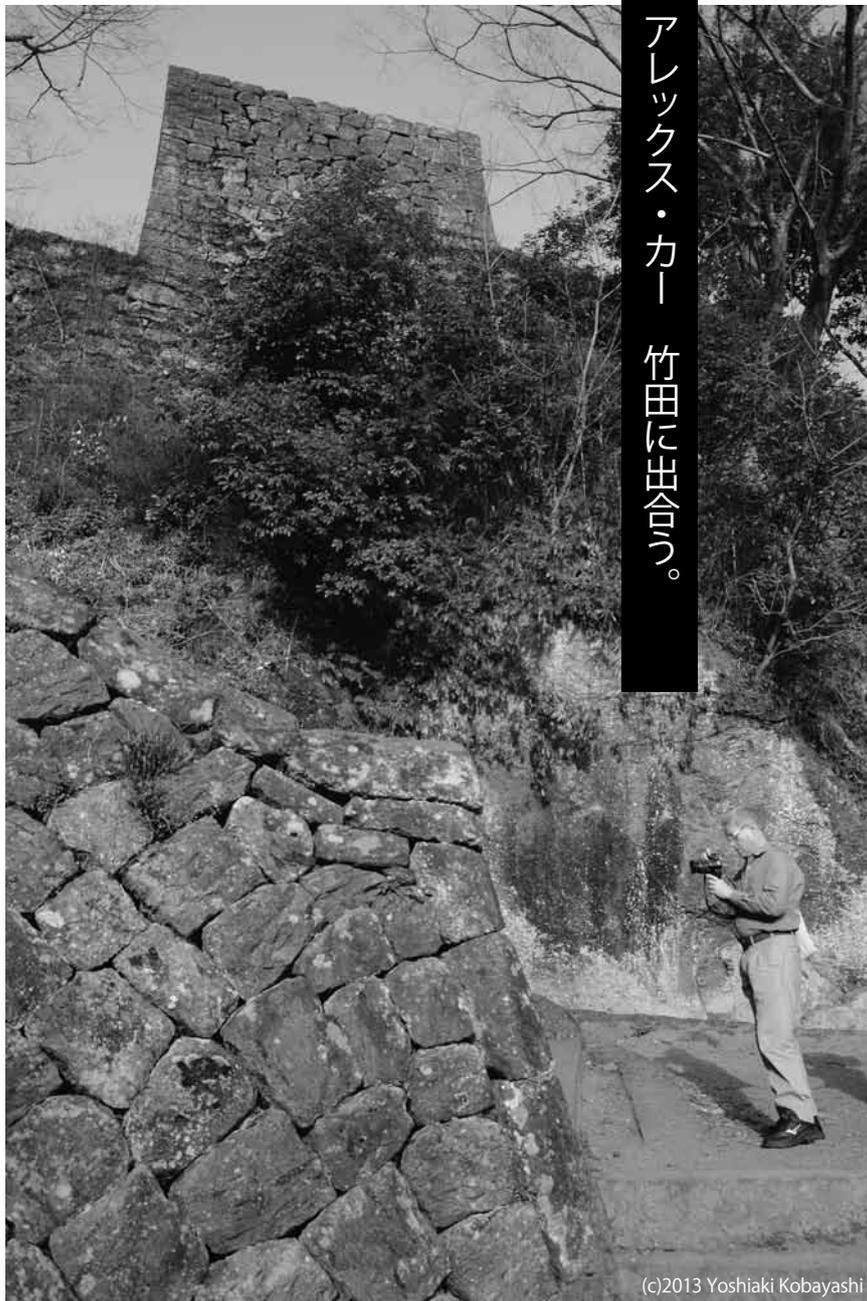
TCT特番情報・4月のこよみ

- 岡城遺産⑩/まるごと博物館⑩…18
- TAKETAN FACE 今月のひと(工藤由美)…19
- 竹田かわら版 TOWN TOPICS…20
- 健康情報 保健だより…22
- Build Back Better ビルド・バック・ベター～夢と希望を生む「創造的復興」～⑧…23
- たけたんアンテナ
パートクロツィンゲンコーナー/
竹田雑感/生き活き興起…24
- ミステリアス!竹田キリシタン⑨
殉教編…26
- 今月のイントロダクション
ほくたち・私たちの学び舎(直入中学校)/図書館のおしらせ/誕生おめでとう/少年たけたま…28
- 文化財課からお知らせ…30
- よみがえれ ピンクの絨毯…31
- 郷土の植物/すくすく1歳/アッパレ100歳…32

人口のうごき

(前月比)

人口	24,506	人(-41)
男性	11,389	人(-26)
女性	13,117	人(-15)
世帯数	10,611	世帯(-13)
住民基本台帳登録人数 (平成25年2月28日現在)		



(c)2013 Yoshiaki Kobayashi

↑「岡城跡」の風情に感動し、夢中で写真を撮るアレックスさん

アレックス・カー

1952年生まれ、イェール大学で日本学を専攻。東洋文化研究者、作家。1971年に四国の東祖谷の山村に茅葺きの古民家を購入。現在は京都・亀岡の矢田天満宮境内に移築された400年前の尼寺を改修して住居とし、そこを拠点に、日本各地をまわり、昔の美しさが残る日本各地の景観を観光に役立てるためのプロデュースを行っている。著書に『美しき日本の残像』（新潮社）、『犬と鬼』（講談社）、『日本ブランド』で行こう』（ウェイツ）など。



↑「住民たちがそのまちを愛しているところは、うまくいっている」と話すアレックスさん

景観が美しく残ったところには、「希望」がある

3月9日、東洋文化研究家のアレックス・カーさんが「アレックス・カーは竹田に何を見たのか?」をテーマに西光寺御堂で講演を行いました。

アレックスさんは、はじめに竹田についての感想を次のように語りました。「竹田を（短時間で）見て言えることは2つある。まずひとつは、岡城の凄さ。お城が好きで、私の原点。今まで朝来

の竹田城^{たけだましろ}をととても愛していて、よく行っていたが、朝来の竹田城より数倍のスケールだと思う。びっくりして、まだまだ世間にあまり知られていない宝物だと思った。感動して、またゆっ

→講演の前夜、竹田の作家たちとのデイナー。アレックスさんは得意の書道を披露しました。



り写真を撮りたい。竹田市の素晴らしい「お宝」である。これからどう生かすかが大問題でしょう。

もうひとつは、竹工芸や書道家など若いアーティストが竹田に集まってきていること。彼らは日本の地方都市では珍しい存在。これからはアートの時代、アートでもって、まちに魅力をつける。また、若い人同士の楽しみをつける。動きとしては、ひじょうに嬉しいことだと思う。」

また、『美しさが残る日本各地の景観を観光に利用した成功例』や『景観問題』などの事例を写真で紹介。日本人が大事にしてきたものをどのようにして再生させるかを話し、竹田のまちづくり「可能性のヒント」を授けてくれました。



「アレックス・カーは竹田に何をみたのか？」第2部のトークセッションが西光寺御堂で繰り広げられました。お寺の持つ空間の中で、「竹田の魅力について」や「まちづくりの提言」など、抜粋してご紹介します。

第2部 トークセッション

—竹田に住む作家やまちづくりの担い手を交えて—

竹田が 変わるが !

メインパーソナリティー
アレックス・カー

(東洋文化研究者、作家・京都府)

ゲストスピーカー

白洲 信哉

(雑誌「目の眼」編集長・東京都)

中臣 一 (竹藝家・竹田市在住)

草刈 樵峰 (書家・竹田市在住)

崎谷浩一郎

(「竹田エコミュージアム構想アドバイザー」・東京都)

進行

首藤 勝次 (竹田市長)

まちを誇りにして、オンリーワ
ンを目指してほしい。 白洲 信哉

昨晚中臣さんの自宅に招かれました。若い職人の方々が竹田のまちを再生し

ていきたいということでも中央からこちらに入られている方や、戻っている方もいるんですが、その中でアレックス・カーさんのように、異国から日本を見て村を再生する方もいれば、職人として中でやっていく方法もあるでしょう。いろんなかたちで、昔に残してくれたものをただ単に復活させるだけではなくて、今の暮らしに合うものを創っていく。また、こういうお寺でやることも斬新的でいいですね。会場の皆さんの顔が見えるところでやることも今までなかったと思います。

昔の寺小屋はこういう場所で学問をしたりして、地域の絆を深めていくことがお寺にあったわけです。昨日の中臣さん個人宅に招かれて、市の方がオ



う跡地があるんですから。まちを誇りにして、オンライン^{ワン}1を目指してほしい。

何も無いことが、素晴らしさ。

アレックス・カー

「情報発信について」まず本物志向ですよ。「麓庵」(※徳島県東祖谷にある、築三百年の茅葺き屋根の古民家。アレックスさんが30年前に購入し再生した)に何万人も来たのは、基本的に口コミです。去年は9割程お客が入っていたけど、旅行会社と組まずに(もちろん雑誌にはPRに載りましたけど)モノが良ければお客様は来ます。

本物を期待してくるお客の思いを裏切らないこと。それをいつでも努力しています。それさえベースにあれば、あとは自然にできちゃう。あと、古民家再生の場合は、これまでにやったこととちよつと違ったことをやるのです。ワンパターンにならないように。その地形にあったことを取り入れるとか。世界のリゾートとかホテルに泊まりに行くけど、楽しめないのです。こういう

シヤレに会を開いてみたり、そういう新しいことにチャレンジしている「まち」。これが竹田の第一印象です。「町のサイズ」としては、ひじょうにいいなあと思っています。市町村合併をして大きくしていく方向にいつてますが、これからの時代、僕は小さくしていかなければいけないと思う。これはスケール感ではなく、昔でいう「藩」。そういう行政サイズが丁度いいかなど。それに培われてきて「江戸」っていう藩ができて、250から300の間の広さの中で「文化」ができてきたのです。それと、僕が文化行政のひとつにぜひ加えてほしいのは、『教育』です。



「竹田の魅力について」竹田というま

竹田のまちに漂う「文化の薫り」この魅力を引き出したい。

中臣 一

今年まで見てきたものを発展させて、新しく取り入れることができないかと常に考えています。物件には立地的にも、造りにも個性があるんですね。家に入る時、まずその家の「こうでありたい」という声を聞いて、そして、美しく面白く楽しく、何かできないのかという対話がいづもの楽しみなのです。「まちづくりの提言について」意外と、無いことが素晴らしいということもある。電線の埋設や無駄な看板など、要らないことをしないというは、今の時代とても難しい。作るの簡単、作らないのは難しい。もうひとつ進めて、『撤去するということ』も大事。日本で老朽化してきたダムだとか間違つて作った工事も少なからずある。アメリカはこの数十年で、きちんと分析した上で数百のダムを撤去しました。ある意味で大掃除していくことも健全な公共事業ではないかと思う。

「竹田をもっと面白くするために、感覚を磨いていく。」
草刈 樵峰

19歳の頃から看板業を営んでおりまして、竹田に帰ってきてからは、町並みと調和を考えたものを作るようになりました。

今後は調和と素材にこだわりながら、前に進んでいきたいと思っています。すべて今まで生きてきたなかで、大事にしてきたのは自分の「感覚」です。

竹田をもっと面白くするために、そ





の感覚をいい方向に磨いていければいいかなと思っています。

まちを使いながら、育てていくことが必要です。

崎谷浩一郎

竹田には土木の設計で白水ダム周辺整備の仕事関係で、3年程前から出入りをさせていただいております。

僕は五島列島とか、佐渡島で公共空間のデザインの仕事をさせてもらっていて、アレックスさんの話を問題意識として持っていることでもあるし、ハードの公共空間の中で何ができるかを常々考えているところです。

定住の話がありました。ベースになるのは『ホスピタリティ（おもてなし）』なのかもしれません。僕が竹田にもものすごく惹かれてるのは、やっぱり基本的にはそこです。

心のおもてなしというか、心の交流というか、そういうものをさせていただいている。こちらだけではなく、東京にいても竹田出身の若い方がやってる会にも呼んでいただいて、頻繁に

交流をさせていただいています。今日もわざわざ東京から会場に来ている。これはすごいことです。

これは何が基本にあるのかなあとという、ひとつひとつが竹田のDNAに刻まれている、何か人をもてなす気持ちがあるのではないかと。それがありません、竹田はイケると確信しています。

それと、住民のみなさんは、もともと

まちに出ないといけないのではないかと。

まちを使いながら、育てていくことが必要だと思えます。



白洲 信哉 SHIRASU SHINYA

1965年東京都生まれ。細川護熙首相の公設秘書を経て、執筆活動に入る。その一方で日本文化の普及につとめ、書籍編集、デザインのほか、さまざまな文化イベントをプロデュースする。父方の祖父は、白洲次郎・正子。母方の祖父は文芸評論家の小林秀雄。「目の眼」編集長

中臣 一 HAJIME NAKATOMI

1974年大阪府和泉市生まれ。大学在学中に竹芸芸に出会い、竹の持つ美しさと無限の可能性に強い衝撃を受ける。大学卒業後、日本唯一の公立竹芸教育研究機関である「大分県竹芸・訓練支援センター」で2年間基礎を学ぶ。センター修了後は竹芸家・本田聖流氏に師事し、2005年独立。現在は用のものからオブジェまで幅広い創作活動を行っている。竹藝家 竹田市在住

草刈 樵峰 SYOHO KUSAKARI

1967年竹田市生まれ。各団体を退会後、大分市、竹田市にて書道教室「樵峰書研」を主宰する傍ら自らの創作活動、展示を県内各地で開催。イベントプロデューサー、イベント企画、店舗、飲食店などの空間プロデュースほか。古道具「三桁-mitsuketaj」主宰
2012 秋期「県美展」書道大賞受賞書家 竹田市在住

崎谷浩一郎 KOUICHIRO SAKITANI

1976年佐賀県生まれ。2003年から、広場や公園、道路、橋梁、河川など公共空間・土木構造物のデザインを専門とする設計事務所 eau を共同主宰。主なプロジェクトは、*旧佐渡鉱山北沢地区・大間地区広場、*長崎中央橋など（*2010年度グッドデザイン賞）。土木系ラジオコメンター。(株) eau 代表、国土館大学非常勤講師

◇会場からのご意見

「工具がひとつ増えると、十の技術がなくなる」と云われている。昭和初期にあれだけの堰堤（白水ダム・白濁池堰堤水利施設）を作っているわけです。あれは手仕事でしょう。竹田のまちづくりは「手仕事」をテーマにやっていってほしい。」

また、竹田は伝統的に持っていた『文化』、『芸術』などがあります。その人がいなくなると廃れていったものが、技を持つている人が移り住んでいただくことで一夜にしてその文化、芸術が花開いて、甦っていく。そういう可能性を持つているまちだと思っておりますし、政策的にも条件整備をやっていかなくてはと思っています。」

アレックス「職人芸というものは、総合的なものがあって、日常生活や町並みとの関係がある。僕は京都の西陣や室町とかで、誰も着物を着なくなったという話になって、そこで着物の似合わないまちを作ってしまったからだと話した。京都に昔の町並みが残ったのであれば、人々は自然に着物を着るでしょう。つまり、町並みと合った工芸が自然と生まれるのです。古い町並みがあれば、左官技術もあれば、竹も和紙も自然についてくるのです。」

それと、『手仕事』をテーマにということについては、もうちょっと和を広げて、『アートのまち』という感覚はどうですか。瀬戸内海では、現代アートの祭典、瀬戸内国際芸術祭が成功しました。あれは3年に一度のイベントでした。

この竹田の地で、手漉き和紙、書道、陶芸、竹細工など、若い職人たちとの出会いがありました。3年に一度ではなく、一年中アートのまち、それを含めての伝統工芸は、それぞれ、日本にここだけの「オンリーワン」ができるんじゃないかと、ふと思いました。」

白洲信哉

しらす しんや

曾祖父・文平の終の棲家^{すみか}、荻町を訪問

「祖父も多くを語らない人だったし、実は家系についてもよく知らないですよ」笑いながらそう語る白洲信哉さん(『目の眼』編集長)は、この度、初めて曾祖父・文平の残した足跡を荻町に訪ねました。



昭和4年から10年頃まで荻町にあった白洲文平氏の別荘。赤瓦屋根の洋館に、暖炉や水洗トイレが備えられていたという。



GHQ(連合軍総司令部)と対等に渡り合い、吉田茂元首相の懐刀とも呼ばれた白洲次郎(1902-1985)の父・文平は、竹田市荻町(旧直入郡荻村)を終の棲家とし、地元の人たちから「荻の鼻高さん」と親しまれていました。

文平は、兵庫県三田市の出身で、若くして海外留学後、綿貿易で巨万の富を得ます。晩年、狩猟が趣味だった文平は、北九州で荻村の人と出会い、それが縁となって荻村への移住を決めたと言われています。

文平は建築道楽としても知られており、当時は珍しい赤瓦屋根の洋館に、暖炉や水洗トイレを備えていたと言われています。体の大きかった文平は、自分専用の棺桶まで用意しており、死後、次郎がジープに乗って引き取りに



↑資料を説明する向井雄二郎さん(写真左から2番目)、同席した荻町史談会の後藤文雄さん(写真左から1番目)、白洲次郎婦人の正子さんと生前親交のあったアレックス・カーさん(写真左から3番目)、白洲信哉さん(写真右)

来たときには、村中が大騒ぎになったと伝えられています。

その後、洋館は現在も敷地内に住む向井家に譲られることになりました。建物の傷みがひどく、うまやを残し、平成元年に立て替えられました。が、家屋譲渡の際の覚書や、当時の写真が貴重な資料として向井家に残されています。

3月9日、旧白洲邸跡地を訪れた信哉さんは、向井家のみなさん、そして、長年に渡り白洲家の足跡を調査してきた史談会の後藤文雄会長他多くの地元の方に温かく迎えられ、当時の逸話などに接しました。

信哉さんは曾祖父の足跡に触れ、「自



↑向井家のご家族と集合写真を撮る白洲さん。(写真右の)向井雄二郎さんが手にしているのは、当時の別荘の名残りとして、大事に保管されていた「避雷針」

由人ですよ。自分の好きなことを自分の意志で、最後までしたいようにしたんだと思う。意思を全うできたということは、幸せだったんだなと思います。何より、曾祖父の思い出を大事に残して下さっている地元のみなさんに感謝します。」と、語ってくださいました。

曾祖父の生きた大地に立ち、そこで信哉さんが感じたものは、きつと現存する資料から紐解かれる事実だけではないことでしょうか。それは、この地に生きる人々の内にも宿り、新たなストーリーを生み出す糧となることでしょうか。

監査公表

竹田市監査委員
村上 長生
同
中村 憲史

地方自治法第199条の規定に基づき、平成24年11月から平成25年1月までの各月において、市長部局、教育委員会、議会事務局、選挙管理委員会事務局、及び農業委員会事務局の監査を実施したので、その結果をお知らせします。

■保険課

健康づくり関係課と横断的に健康事業展開を行って、健康づくりの意識向上と医療費の適正化を図っていただくよう、また併せて収納率を向上させて国保財政の安定化に引き続き努められるよう要望する。

■健康増進課・子ども診療所

引続き制度に従った健康増進事業や介護予防事業を推進されるとともに、市独自の事業の展開、特に健康一直線事業を健康づくり関係課と横断的に施策を協議して、市民の健康の保持・増進と喫緊の課題の国保財政の健全化を図っていただくよう要望する。

子ども診療所については、引き続き利用者の目線に立った医療サービスの提供に努めていただくとともに、健全な経営を構築していただくよう要望する。

■環境衛生課

農業集落排水事業の加入を支所産業建設課と連携して促進をしていただくよう要望する。

ゴミ収集事業のごみの分別については、高齢者にも容易に理解、分別ができる対策を講じていただくよう要望する。

■福祉事務所

保育料並びに災害援護資金貸付金の未納金については、公平性の観点からも引き続き収納対策に努められるよう要望する。

必要とされる福祉事業をその人の立場で駆使、提供しながら、福祉の向上、充実に努めていただくとともに、個人情報保護に引き続き取組まれるよう要望する。

■商工観光課

市内各地域の個性的な観光

教育委員会

■教育総務課

教育施設の整備に努め、学校教育環境の向上を図っていただくよう要望する。

■学校教育課

竹田市教育のまちTOP運動を計画から研究へ、さらに具体化した生活の基盤及び学習の基盤の土台作りの確立に引き続き取組んでいただくよう要望する。

■生涯学習課・中央公民館・文化会館

生涯学習並びに社会体育事業については、引き続き、市民の要望に沿う活気ある事業の取組みとスポーツを通じた街づくり積極的に取組んでいただくよう要望する。

■入札・検査課

入札については、公平、透明性をもって公共工事の適正な執行と品質の確保を図っていただくとともに、検査業務にあたっては、厳格な検査の中に、指導を含めて取組まれるよう要望する。

■文化財課

文化財保護事業や岡城保存修理事業は、将来の公開、利活

用を見据えた事業展開を引続きしていただくよう要望する。

文化的遺産の発掘の取組みをされるとともに、整理・保存に努めていただき、併せて、文化及び歴史資料等の普及活動に引き続き取組んでいただくよう要望する。

議会事務局

請願書及び陳情書については、事業の可能性を加味して提出前に、十分に担当課と協議をしていただくよう要望する。

選挙管理委員会事務局

選挙ごとに投票事務結果の検証を行い、引き続き事務改善を図っていただくとともに、個人情報に関する書類の取り扱いについては、十分配慮されるよう要望する。

農業委員会事務局

農地の集積促進及び集落営農の組織化に努め、農業経営の効率化を図っていただくよう要望する。

平成25年度当初予算をお知らせします

平成25年度当初予算は、本年4月に市長選挙が実施されることから、いわゆる骨格予算となっています。このため、例年お知らせしている当初予算の概要については、本予算成立後に改めて掲載することとし、今回は骨格予算の概略をお知らせします。

(1) 一般会計当初予算

区 分	予 算 額
1. 市税	1,852,096
2. 地方譲与税	270,001
3. 利子割交付金	3,500
4. 配当割交付金	1,500
5. 株式等譲渡所得割交付金	500
6. 地方消費税交付金	220,000
7. ゴルフ場利用税交付金	8,000
8. 自動車取得税交付金	50,000
9. 地方特例交付金	3,000
10. 地方交付税	8,600,000
11. 交通安全対策特別交付金	5,000
12. 分担金及び負担金	354,449
13. 使用料及び手数料	342,684
14. 国庫支出金	1,669,293
15. 県支出金	4,694,962
16. 財産収入	73,914
17. 寄附金	7,720
18. 繰入金	677,738
19. 繰越金	1
20. 諸収入	239,242
21. 市債	1,699,300
合 計	20,772,900

区 分	予 算 額
1. 議会費	196,487
2. 総務費	2,543,791
3. 民生費	4,772,335
4. 衛生費	1,221,088
5. 労働費	68,596
6. 農林水産業費	1,799,316
7. 商工費	346,437
8. 土木費	1,073,960
9. 消防費	1,193,776
10. 教育費	1,403,723
11. 災害復旧費	3,753,735
12. 公債費	2,379,656
13. 予備費	20,000
合 計	20,772,900

一般会計…市民の生活に最も深く関わりのある会計で、基本的な経費を中心に予算計上しています。平成25年度当初予算では、住宅被災者を対象とした市営住宅の整備事業、農地や農業用施設の災害復旧事業費を計上しています。また、継続事業である消防庁舎建設事業や竹田幼稚園建設事業、衛生センター長寿命化事業を盛り込んでいます。



(2) 特別会計

(単位：千円)

会 計 区 分	当初予算額
こども診療所特別会計	72,581
長湯温泉療養文化館特別会計	48,996
国民健康保険特別会計	3,725,720
後期高齢者医療特別会計	378,629
介護保険特別会計	3,728,728
簡易水道事業特別会計	259,164
農業集落排水事業特別会計	107,822
浄化槽整備推進事業特別会計	207,964
国民宿舎久住高原荘事業特別会計	331,404
国民宿舎直入荘事業特別会計	74,134

特別会計…特定の事業を行う場合、特定の収入と特定の支出にあて、一般会計と区別して整理する会計。

(3) 水道事業会計

(単位：千円)

区 分	予 算 額	
収益的収入及び支出	事業収益	185,233
	事業費用	182,831
資本的収入及び支出	資本的収入	8,271
	資本的支出	97,693

水道事業会計…地方公営企業法に基づいた独立採算の公営企業で竹田地域の一部に上水道を供給しています。

「その一票 笑顔で歩む 明日を築く」

竹田市長選挙・竹田市議会議員選挙 投票日は 4月14日(日)です

●告示日(立候補届出日) 4月7日(日)

●投票日時 4月14日(日) 午前7時～午後6時

●開票日時 4月14日(日) 午後8時

●選挙会場(開票を含む) 竹田市総合社会福祉センター

投票できる人

満20歳以上の日本国民で(平成5年4月15日までに生まれた人)で、引き続き3カ月以上竹田市内に住んでいる人。(市外から転入された人は、平成25年1月6日までに転入届出をした人。)

また、選挙人名簿に登録されている人で、欠格要件に該当しない人。

※選挙人名簿に登録されていても、投票日当日や期日前投票をする日にす

で他市町村に転出している人は投票することが出来ません。

入場整理券

入場整理券は、郵送します。投票日当日に投票される人は、入場整理券に記載されている投票所であれば投票することができます。

投票の方法

投票の順序は、最初に市長選挙の投票を行い、次に市議会議員選挙の投票を行います。

1. 期日前投票

※期日前投票や点字投票は、記名式投票です。

候補者の氏名を書いて投票します。

※入場整理券が届いている場合は投票の際にご持参ください。市内4投票所どこでも投票できます。

期 間 4月8日(月)～4月13日(土)
時 間 午前8時30分～午後8時
場 所 竹田市役所3階会議室
萩支所1階会議室
久住支所1階ホール
直入支所大会議室

2. 当日投票

入場整理券に記載されている投票所であれば投票することができません。投票所を再度ご確認ください。

○市長選挙は、記号式投票です。

投票用紙に、候補者の氏名が印刷されていますので、投票記載台に備え付けのスタンパーで○印をつけて投票します。

○市議会議員選挙は、記名式投票です。投票用紙に、候補者の氏名を書いてください。

○昨年の衆議院選挙後の投票所の変更等

岡本地区↓竹田市岡本分館体育館
(旧岡本小学校体育館)

松本地区↓竹田市松本分館

宮砥地区↓竹田市宮砥分館

久住地区↓竹田市久住公民館に変更
なっていますので、ご注意ください。

●お問い合わせ 竹田市選挙管理委員会
事務局

〔平日〕 ☎63-1111

〔時間外〕 ☎63-4814

(内線360・305)



竹田市人事異動

竹田市では、平成25年4月1日付け人事異動を行いました。

平成25年度の人事異動にあたっては、4月に竹田市長選挙が行われることから、定員管理計画に基づいた職員数の削減と、退職者の補充を中心とした人事異動として、必要最小限の異動規模となっております。

【平成25年4月1日付】（内は旧役職）

■課長

▽総務課長兼行政改革推進室長兼直入支所長（総務課長兼行政改革推進室長）木下郁雄▽環境衛生課長（建設課参事兼道路管理係長）大塚直広▽人権・同和对策課長（生涯学習課参事兼中央公民館次長兼竹田市文化会館参事兼佐藤義美記念館参事兼公民館・生涯学習係長）工藤寛治▽福祉事務所長（農政課参事兼畜産振興室長）大塚幸憲▽養護老人ホーム南山荘長（農林整備課長補佐）野村忠▽農政課参事兼畜産振興室長（農林整備課長）菊池仁志▽農林整備課長（農林整備課長補佐）秦博典▽入札・検査課長（直入支所産業建設課長兼湯温泉療養文化館御前湯館長兼国民宿舎直入荘長）安達豊▽荻支所長（福祉事務所長）後藤誠▽久住支所産業建設課長（建設課長補佐兼道路河川係長）堀慎司▽直入支所産業建設課長兼湯温泉療養文化館御前湯館長兼国民宿舎直入荘長（久住支所産業建設課長）近藤寿民▽学校教育課長（大分県教育委員会）河野

光雄▽竹田中央学校給食共同調理場長兼久住学校給食共同調理場長兼直入学校給食共同調理場長（教育総務課長補佐兼総務係長）野田道人▽大分県教育委員会（学校教育課長）畑山誠二

■課長補佐

▽市民課長補佐兼市民係長兼年金係長（市民課長補佐兼市民係長）小大塚実▽健康増進課長補佐兼管理係長（健康増進課健康増進係長）宮成公二郎▽人権・同和对策課長補佐兼人権・同和对策係長（養護老人ホーム南山荘主幹兼生活相談係長）和田雪子▽養護老人ホーム南山荘次長兼生活相談係長（直入支所いきいき市民課長補佐）選挙管理委員会直入支局次長兼人権・同和对策課長補佐）大瀨春賀子▽農林整備課長補佐兼農村計画係長（農林整備課農村計画係長）今澤盛治▽建設課長補佐兼道路管理係長（学校教育課長補佐兼教育指導係長）森正治▽教育総務課長補佐兼総務係長（教育総務課施設管理係長）後藤聡▽生涯学習課長補佐兼中央公民館次長兼竹田市文化会館次長兼佐藤義美記念館次長兼公民館・生涯学習係長兼文化会館係長（荻支所いきいき市民課長補佐）岩本都▽生涯学習課長補佐兼久住教育係長兼久住公民館長兼久住学校給食共同調理場次長（健康増進課長補佐兼管理係長）本郷純司▽選挙管理委員会事務局次長（併）監査事務局次長兼庶務係長（生涯学習課長補佐兼スポーツ振興係長）工藤英信

■係長

▽健康増進課健康増進係長（健康増進課主任保健師）渡辺由美子▽荻保育所主任保育士（白丹保育所主任保育士）吉野万千世▽建設課道路河川係長（入札検査課）堀徳広▽荻支所いきいき市民課係長（農業委員会事務局管理係長）後藤一郎▽直入支所いきいき市民課係長（併）選挙管理委員会直入支局次長兼人権・同和对策課係長（直入支所いきいき市民課係長）山井信二▽教育総務課施設管理係長（企画情報課）阿南裕彦▽学校教育課教育指導係長（学校教育課）大塚聡子▽生涯学習課スポーツ振興係長兼B&G直入海洋センター所長（生涯学習課久住教育係長兼久住公民館長兼久住学校給食共同調理場次長）足立達哉▽農業委員会事務局管理係長（農林整備課）衛藤和恵

■一般

▽税務課（福祉事務所）加藤光寿▽市民課（福祉事務所）森崎訓佳▽保険課付後期高齢者医療広域連合派遣（福祉事務所）藤原みどり▽健康増進課（保険課付後期高齢者医療広域連合派遣）吉村優香▽環境衛生課（税務課）伊藤慎弥▽福祉事務所（農業委員会）羽田野亘▽竹田保育所（荻保育所）増山加寿恵▽荻保育所（竹田保育所）繁野加奈▽農林整備課（税務課）山村明▽入札・検査課兼農林整備課（入札・検査課）島村育郎▽入札・検査課（保険課）足達崇徳▽直入支所いきいき市民課（文化財課）櫛浦幸徳▽学校教育課（税務課）吉川沙央里▽竹田小学校（都野中学校）内田英子▽生涯学習課（農政課畜産振興室）佐藤正見

【平成25年3月31日付退職】

▽吉野修一（環境衛生課長）▽工藤省治（人権・同和对策課長）▽大石健市（養護老人ホーム南山荘長）▽工藤三郎（入札・検査課長）▽黒田智子（会計課参事）▽佐伯次人（荻支所長）▽大久保教義（直入支所長）▽阿部泰治（生涯学習課参事兼中央公民館次長兼竹田市文化会館参事兼B&G直入海洋センター所長兼文化会館係長）▽清田武重（竹田中央学校給食共同調理場長兼久住学校給食共同調理場長兼直入学校給食共同調理場長）▽和田春美（選挙管理委員会事務局参事（併）監査事務局参事兼庶務係長）▽伊藤博文（人権・同和对策課長補佐兼人権・同和对策係長）▽菊池恭子（市民課主幹兼年金係長）▽斉藤徳三（環境衛生課専門員）▽吉良俊秀（環境衛生課専門員）▽古荘孝子（生涯学習課専門員）▽黒田章典（竹田中央学校給食共同調理場）

【平成25年4月1日付新採用】

▽渡辺一義（福祉事務所）▽戸井田真（保険課）▽足立啓樹（税務課）▽塩手大史（福祉事務所）▽矢須田透（税務課）

竹田市消防本部・消防署人事異動

【平成25年4月1日付】（内は旧役職）

■消防本部・課長

▽消防長・消防司令長（消防本部次長兼庶務課長・消防司令）後藤清▽消防本部次長兼署長兼警防課長・消防司令（消防署長兼消防本部警防課長・消防司令）田北栄治▽消防本部庶務課長・消防司令（消防本部庶務課参事兼庶務係長・消防司令）麻生章治

■消防本部・課長補佐

▽警防課長補佐兼警防係長兼危険物係長・消防司令(当直副司令兼消防・指導・装備係長・消防司令) 工藤敦▽庶務課長補佐兼庶務係長・消防司令(庶務課長補佐兼消防団係長・消防司令補) 金丸正三

■消防本部・係長

▽警防課予防係長・消防司令補(警防課危険物係長・消防司令補) 佐藤道章▽庶務課消防団係長・消防司令補(消防署救急係長兼庶務課付係長・消防司令補) 志賀和吉

■消防本部・一般

▽警防課予防係兼危険物係 消防副士長(消防署通信係・消防副士長) 広岡幸三

■消防署・課長

▽消防署副署長兼当直司令・消防司令(消防署参事兼通信係長・消防司令) 大塚義徳▽当直司令・消防司令(当直副司令兼予防指導係長・消防司令) 木田寛▽当直司令・消防司令(消防本部警防課長補佐兼予防係長・消防司令) 後藤茂▽久住分署長・消防司令(久住分署副分署長兼消防・指導係長・

消防司令) 倉橋英信

■消防署・課長補佐

▽当直副司令兼消防係長兼通信係長・消防司令(消防本部警防課長補佐兼警防係長・消防司令) 下城広士▽久住分署副分署長兼消防係長兼救急係長・消防司令(当直副司令兼救助係長・消防司令) 工藤忠孝▽当直副司令兼調査係長・消防司令補(調査係長兼警防課付係長・消防司令補) 飯田精華

■消防署・係長

▽救急救助係長兼警防課付係長・消防司令補(久住分署救急係長兼警防課付係長・消防司令補) 佐藤浩和

■消防署・一般

▽消防署・消防司令補(久住分署・消防司令補) 中村良太▽久住分署・消防士長(消防署・消防士長) 岩屋英明▽消防署・消防士長(消防署・消防副士長) 塩谷一郎▽久住分署・消防士長(久住分署・消防副士長) 阿部晋一郎▽久住分署・消防士長(消防署・消防副士長) 内川大地▽大分県防災航空隊派遣・消防士長(大分県防災航空隊派遣・

消防副士長) 大塚省吾▽消防署・消防副士長(消防本部庶務課付・消防副士長) 菅新

司▽久住分署・消防副士長(消防署・消防士) 佐藤愛朗▽久住分署・消防副士長(久住分署・消防士) 村中将志▽消防署・消防副士長(久住分署・消防副士長) 田部智康▽久住分署・消防副士長(久住分署・消防士) 川口遼▽消防署・消防副士長(消防署・消防士) 後藤健介▽消防署・消防士(久住分署・消防士) 釘宮翔太▽久住分署・消防士(消防署・消防士) 吉野智博

【平成25年3月31日付退職】

▽児玉淳一(消防長・消防司令長)▽田北久己(消防署副署長兼久住分署長・消防司令)▽佐藤幸人(当直司令・消防司令)▽高橋末文(当直司令・消防司令)▽斎藤正憲(当直司令・消防司令)

【平成25年4月1日付新採用】

▽佐久間洋平(消防本部庶務課付・消防士)▽前田龍二(消防本部庶務課付・消防士)▽大塚健人(消防本部庶務課付・消防士)▽倉野逸人(消防署・消防士)▽狩生俊朗(消防署・消防士)



新教育委員に
甲斐史隆さん

倉原準一教育委員の退任に伴い、平成25年3月6日付で新たに甲斐史隆さん(荻町馬場)が新教育委員に就任されました。

任期は平成26年6月8日までです。

竹田市行政改革推進委員会が市長へ提言書を提出

竹田市の行政改革の推進に関して、市民からの意見を聞くために設置された竹田市行政改革推進委員会(堀義隆委員長)が、2年の任期の集大成として3月18日、市長に対して提言書を手渡しました。

任期中7回の会議を積み重ね、市が行財政改革を達成させる過程において、行政と市民との橋渡しの役割を担っていただきました。

委員会では、竹田市の今後を担う若い人が将来に希望が持て、市民みんながいきいきと暮らしていけるような竹田市であり続けるために、市民目線から市の行政改革や将来的



↑提言書を市長に手渡す堀義隆委員長

にどうあるべきかという観点で審議を行ってきました。

今回の提言書では、①合併後の周辺地域の振興策について、②行財政改革と財政の健全化について提言がありました。

市では、今回の提言を参考に引き続き行財政改革に取り組んでいきます。



有由有縁(ゆうゆうえん)

文豪川端康成が晩年、よく揮毫したのが『有由有縁』。人との出会いや物事との接点が生まれるのは、偶然ではなく、それなりの理由が働くからであるという意味。昭和27年、取材旅行を兼ね、友人高田力蔵の案内で竹田市を訪れ、竹田高校で講演した川端との縁は、まさに目には見えない力だけれど、神の配剤としか思えない。



← 3月25日、「7・12竹田市豪雨災害に関する緊急要望書」を県土木建築部長の畦津義彦氏に手渡す首藤市長(大分県庁)

決意に報いるのは徹底した安全性の確保

「阿蔵新橋を撤去する」という住民の決意

「阿蔵新橋を撤去してもらっていい、いや撤去してほしいのです」。悲痛とも感じとれる声が相次いだ。2月17日に阿蔵地区と鬼ヶ城地区の住民が結集した懇談会での席だった。

昨年の7・12竹田大水害は大きな爪痕を残し、その傷はまだ癒えていないのであるが、しかし悲しみのまま立ち止まっていいわけではない。勇気ある復興の取り組みと同時に、もうひとつ重要な作業が「なぜ災害は起こったか」の原因を追求することにある。2月17日に開催された懇談会は、そんな現場検証の延長線上にあるものだった。そして、その結果、被災現場を最も知る地域住民の総意として打ち出されたのが『阿蔵新橋の撤去』だったのである。

生活の利便性より、徹底して安全性を求めること。被災体験をした住民が出したこの結論は、それでもやはり苦渋の選択であったということを知りたてた。知らなければならぬ。

この懇談会を全身全霊で受け止めた私は、あの福島原発のことに思いをめぐらせていた。当然ながら、自然が相手の安全性と人為的に創り出したものの安全性を比べるわけにはいかない。電力を生み出す経済性だけを考えれば原子力発電は理にかなうものであるろう。しかし、完璧な安全性が保障されるかと問われれば『否』と答えざるを得ない。一方、自然界における完璧な安全性の確保はどうか。所詮、ちっぽけな人間が自然界を治めることなどできはしない。だから自然の摂理に逆らうようなことをしてはならないのである。必ずしつべ返しが来る。そんな事例を私たち人間は世界中で見えてきたはずである。

話を阿蔵新橋に戻そう。実はこの橋も自然の摂理に逆らって造営したものである。玉来川のショートカットに伴って架けなければならなかった橋なのである。このとき、地域住民はすでに自然界のしつべ返しすることに不安を抱いていた。「川の流れの変化に護岸は持ちこたえることができるのか」、「橋はもつと高い位置に架けなくていいのか」、「橋の支柱を立てるのは怖い」などと訴えていたのである。しかし、すべて大丈夫だとされて、いまの橋が架けられた。

ここでは、さかのぼってそのことを追求することはしない。ただ、想定される不安は可能な限り取り除くこと、そのための努力を惜しんではならないということは明確に示されたはずである。

もう二度と失敗は繰り返してはならない。まして、住民はまさに命がけで橋の撤去を決断したのでだから。

3月25日、私はそんな決意と市長としての覚悟を決めて住民とともに県庁に乗り込んだ。

「阿蔵新橋を撤去する。だから、護岸の嵩上げは予定の1メートルから2メートルに変更すること。上流のトキハ橋まで嵩上げを延長すること。竹田玉来線を2年以内早期に完成させること。河床掘削をする」とを緊急要請したのである。これが実現すれば、文化会館とその周辺の安全性は完璧に近いほどに高まって、文化会館の再生は一般財源1億円から2億円ほどで実現する可能性も生まれる。

自然界のことは想定ができない。だからこそ可能な限りの安全性を追求して全身全霊をかけて挑戦していく覚悟である。

「温泉療養保健システム」に榮譽!

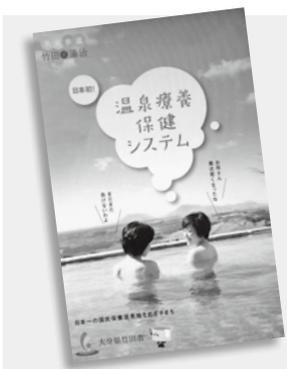
竹田市観光ツーリズム協会が
第5回ヘルスツーリズム奨励賞

この度、竹田市観光ツーリズム協会「温泉療養保健システム」は特定非営利活動法人日本ヘルスツーリズム振興機構(理事長森昭三)の「第5回ヘルスツーリズム」奨励賞を受賞しました。

「温泉療養保健システム」は、温泉療法を体験する宿泊者に入浴料と宿泊料の一部を市が助成するしくみで、平成23年は543人、平成24年は443人が利用しています。

温泉医学研究所と連携し、温泉療養保健システムの利用者の睡眠状態や、血液データ、免疫などの調査を行います。竹田式湯治では、医学博士の監修を得て、プログラムを作成しています。

また、竹田D級グルメ(デリシヤス&ダイエット)と名付けた、体にやさしいヘルシーメニューを提供する食事処が市内に25か所あり、ウォーキングコースも整備され、旅行者が健康的に楽しめる工夫が施されている点も高く評価されました。



竹田市先人顕彰 エッセイ入賞作品発表



最優秀賞

「東北の夜空に見えた広瀬武夫」

井筒良一郎（寝屋川市／50歳）

日露戦争の英雄である廣瀬武夫に傾倒したのは私が中学二年の時だった。念願の柔道初段に合格し、黒帯となった私は更に得意技を身につけようと柔道の書物を読み漁った。その時に「俵返し」という大技を知り、それが日本初の軍神で海軍柔道の始祖・廣瀬武夫の得意技で講道館では海軍の大砲に見立てて、「大砲投げ」といわれたと余話に書いてあった。彼は昇段試合で五人抜きを演じて即日武段に昇段したという。部下の杉野兵曹を探し最中に被弾して命を落として軍神となった事も後に知り、それ以来私の心の中で彼は柔道と国家的な英雄として棲みつく事になり、彼の伝記などを愛読した。そんな廣瀬武夫が柔道の世界と

は別に更なる不思議な縁で人との絆を結びせてくれた事がある。それは3・11東日本大震災の時だった。

私達は他県の警察官として発災と同時に激震がまだ冷めぬ東北の現地に派遣された。最初の派遣の時はボール一本だけを手に、立ち塞がる瓦礫と格闘しながら生存者を捜索した。

だが、発見するのは息絶えた被災者ばかりで、ご遺体を搬送しては茶毘に付す日が続いた。その後も派遣は第七次まで続き、最後の任務として師走の東北で沿岸部中心にご遺体の集中捜索に従事する事となった。

明日で捜索終了という夕方。任務を終えて、浜辺から宿舎に戻ろうとした時

に地元の仮設住宅に住む自治会長さんが声をかけてくれた。「遠くからお世話様だ。寒かったら？暖まってつてよ。餅もあるから食べてつて。」

最初は固辞したものの集会所の中から他の方も手招きされる。ご厚意に甘えて暖をとる事にした。ストーブの暖かさと同様、集会所で人の温かさと熱いお茶で心も体も温まった。

ふと気がつくともみんなテレビに釘付けになっている。NHK放送の年末ドラマ「坂の上の雲」だ。場面はロシア社交界のパーティーに招かれた駐在武官廣瀬の前で彼の恋人といわれたアリアズナが「荒城の月」をピアノ演奏するシーンだ。荒城の月は大分県竹田市の廣瀬と同郷人である滝廉太郎の曲だった。

柔道の目標であり生き方を尊敬した廣瀬武夫がドラマの中とはいえ東北で見られるとは、と思った。「極東の島国・日本の曲などロシア帝国の曲と比べるな。」と馬鹿にするロシア人達はいつしかアリアズナの弾くピアノの音色に魅了され、最後には拍手喝采を送った。

気がつくとも周りの被災者の方の目には涙が光っていた。一人の初老の女性が、「いい曲だねえ。」と、しみじみした声でいう。高齢の男性は「廣瀬武夫って軍神とまで言われた人だけと戦死するんだ。あのロシアの恋人も可哀想だよねえ。」といった。話の輪に加わりたくて廣瀬好きの私はつい、いつてしまった。「これはドラマだけどきつと廣瀬は恋人のアリ

アズナに日本の故郷の事を語ったんでしようね、故郷の景色の事とか、故郷の歌とか。」「お巡りさん。あんた、いいこと言うねえ。」

何気なく口にした「故郷」という言葉が被災者の胸に沁みたらしい。自治会長さんの言葉にストーブの周りで多くの方が目頭を押さえた。そうだ。この人達の故郷はここなんだ。「お巡りさん達もさ、縁も所縁も何もねえ、こんな遠くまで来てくれてさ。お世話様です。無事にお家に帰つてよ。奥さんも子供さんも待ってるんだから。復興したらさ、忘れずに遊びに来てよ、今度はお家の方と一緒にね。」

家を流され、身内を亡くし、哀しみの極地の中で東北の人は何故、こんなに優しいのだろう。私の方こそ優しい言葉に目が潤んだ。

貰った餅を両手に抱え、帰りの道をトボトボと歩くと自然に夜空を見上げた。写真で見た廣瀬はいかめしい軍服姿だったけれど星空にニッコリと微笑んでいる廣瀬が浮かんだ。「俺の故郷の事はアリアズナに伝えたよ。お前も被災者を励ましてくれてありがとう。無事に家に帰れ。東北は必ず復興するからな。」

東北に輝く満天の星。その星々の間から廣瀬武夫の優しい声が確かに私の耳に届いた。



優秀賞

「滝廉太郎と荒城の月」

嘉久 記章 (静岡市/52歳)

(やけにやせてスマートなシューベルトだ)

それが、滝廉太郎との出会いだった。小学校の音楽室。

ズラリと並ぶ片仮名の西洋人音楽家達の肖像画の中に、ひっそりと彼の肖像画はあった。

最初は気づかず、眼鏡をかけているからシューベルトだろうと思った。

(インドへでも行って一月ばかり断食修行でもした時の肖像画だろうか?)

よく見たら、別人で日本人だった。滝は読めたが、廉太郎とは何と読むのか分らなかった。レンタロウだと、後の授業で教師が教えてくれた。

(若死にだなあ。気の毒に)

没年から生年をひいて二十数年という数字を得た時、そう思った。

なぜか音楽家には、美男が少ない。美しい楽曲を残した人ほどブ男のような気がする。その中では、廉太郎はい男で二枚目ではないかと、内心誇らしかった。

もつとも。ブ男でフラれてばかりいたというベートーヴェンだって、みようによつてはキムタクに似ている。いい男に見えたのは僕の御国自慢、日本人びい

きゆえやも知れぬ。

彼の作った曲は、『荒城の月』しか知らない。音楽の授業で、大きなレコードを針のついたプレーヤーで回して聴かされた。

何かくらい曲だなあ。気が滅入るなあ。それくらいしか、心に残らなかった。

それから半世紀近く生きて、色々知って、今では少しは彼がその曲を作った時代とその背景についてわかるようになった。

エライ時代に、彼は生まれた。もう武士の世ではダメだ。

もう昔のやり方では生きてはゆけぬ。そう考える人々が中心となり、明治維新というものを起こした。しかし世の中は、そう考える人達ばかりではなかった。

武士の世に戻せ!

昔のやり方にかえれ!

そう叫んで、全国の元・武士達が反乱を起こした。最大のものが明治十年、西郷隆盛を中心とした西南戦争だった。

荒城の月の舞台となった竹田の人々も、武士の世に戻せ! 昔のやり方にかえれ!と大いに叫んだ。

そして大汗をかいて政府軍と戦い、大負けした。負けたことで、日本全国の人達

が悟った。悟らざるをえなかった。もう武士の世に戻ることはない。昔のやり方

にかえることもない。生活も価値観も。新しい近代的西洋的なものを受け容れ、それに従う他は生きてはゆけないのだと。

滝廉太郎は、勝った側の人間の筈だった。負けた側の価値観や生活様式など泥靴で踏みにしり、せせら笑い、馬鹿にしておればよかった。

なのに彼はそうしなかった。勝った側にも拘らず、負けた側に立ち、その心情と価値観ののどつて『荒城の月』を作曲した。彼の名メロディーなくして『荒城の月』は世に出、これほど人に知られ、愛され、親しまれることはなかったであろう。

命と力の限り戦い、破れた者にできることは、たった一つである。それは、負け惜しみを言うことだけだ。

優秀賞

『ちづるちづる ちづるき ちづるき』

白澤 健志 (横浜市/43歳)

佐藤義美さん。

ある秋の日に、あなたの記念館におじやしました。平日の昼下がりででしたので、私のほかに訪れる人もありません。おかげで私は初めて触れたあなたの世界を、誰にもじやまされることなく、思う存分ひとりじめできたのです。

もちろん、「犬のおまわりさん」や「ア



だから、『荒城の月』は負けた側の負け惜しみの曲である。おまえらなあ、今の世の方が進んでいる、住みよいと言うが、昔の方がよかったですぞ。ずつとずつとよかったですぞ!

全編がそのくり返しである。

詞だけなら、単なる負け惜しみの呪怨でしかなかったものに。廉太郎は美しいメロディーを与え、生命を吹き込み、不朽の芸術とした。そこに廉太郎の限りない優しさがある。

勝った者、生き残った者だけが正しく優れている訳ではない。むしろ負けた側、滅びゆく者の中にこそ美しさや素晴らしさや輝きはあるのだ、と。この曲を通じて廉太郎は永遠に我々に訴えているような気がしてならない。

『荒城の月』こそわが心の曲である。

イスクリームの歌」などは、私も小さい頃から親しんでいた童謡ですし、その愉快な詩を書いたのがあなただということも事前に知っていました。

それにしても、それだけではない、なんと広いあなたの世界だったのでしょ。記念館の部屋いっぱいには並べられた、あなたの作品の数々。童謡だけではなく

い、童話集や、絵本、自筆原稿などなど。そして、その作品世界を生み出した、あなたの生きていた時そのままに再現された書齋。

なかでも、窓際のコーナーに掲げられていたパネルの説明文に、私はじっと見入りました。あなたが生涯のさいごに書こうとしていたのが、原爆に命を奪われた子どもたちの声だったこと。その、未完の童謡の断片を前にして私はやっど、有名な童謡だけではない、あなたの世界の大きさを知ったのでした。

どこまでも子どもの目線で、子どものために、子どもの声に耳を澄ませていた佐藤さん。その想いがさいごに辿り着いたのは、永遠に語られなくなってしまう、ちいさな、ちいさな、声たちの場所でした。



↑表彰式に出席された入賞者のみなさん

◇竹田市先人顕彰エッセイ審査結果

審査結果は、次のとおりです。入賞おめでとうございます。

〔井筒さんの受賞コメント〕

「栄えある竹田市先人顕彰エッセイの最優秀賞を受賞させて頂き、誠にありがとうございます。拙作『東北の夜空に見えた廣瀬武夫』に対して授賞を頂き、これも世界中を震撼させた東日本大震災に際し、竹田市が産んだ偉大な日本の英雄・廣瀬武夫との不思議な縁が繋がったものと実感しています。」

3月16日、「岡藩城下町400年祭記念竹田市先人顕彰エッセイ」表彰式が市本庁舎で行われました。童門冬二氏（審査委員長、作家）、寺田昭一氏（HP総研シニア・コンサルタント）、首藤竹田市長が審査にあたり、全国からの応募総数91点の中から、井筒良一郎（寝屋川市）さんの「東北の夜空に見えた廣瀬武夫」が最優秀賞に選ばれました。

最優秀賞「東北の夜空に見えた廣瀬武夫」井筒良一郎（寝屋川市／50歳）
優秀賞「滝廉太郎と荒城の月」嘉久記章（静岡市／52歳）、「ちいさい、ちいさい、ひこうき」佐藤義美さんの世界（横濱市／43歳）
奨励賞「岡藩勤皇家・初代堺原知事『小河彌右衛門一敏』を訪ねて」狭間文重（大分市／62歳）
佳作「花」岡部達美（つくば市／19歳）、「私と竹田と廉太郎メロディ」甲斐紀子（豊後大野市／36歳）、「なぜ「井」を付したのか」川間佳俊（大島郡和泊町／74歳）、「のんきなとうさん」神馬せつを（金沢市／65歳）、「母と娘の幕間」杉田美都枝（大分市／79歳）、「田能村竹田の絵を観て」榎園和子（大分市／61歳）、「音に想いをのせて」生越寛子（三島郡島本町／33歳）、「茶色の『通知票』」志賀秀教（桜井市／82歳）、「迷子の迷子の」橘田賢（八王子市／36歳）、「四原一揆の雄は誰」後藤文雄（竹田市／78歳）、「偉人という人のパワ」鈴木みりのり（三島市／42歳）

なお、入賞作品はエッセイ集として刊行され、市内小・中学校及び図書館、公民館ほか公共施設に配布されます。

八七〇九日を行きぬいた光の作曲家 滝廉太郎（佐々木幹雄（大田区／55歳）、「佐藤義美」を訪ねて）古澤アサ子（大分市／70歳）、「ワクワクドキドキする歌」今井貴之（ふじみ野市／28歳）、「和にあって『武』を懐く」夏田信身（堺市／78歳）、「廣瀬中佐」語り継ぐこと 横田いずみ（世田谷区／26歳）、「初夏の一日」高岡はるみ（川西市／71歳）、「朝倉文夫と祖母リンに学ぶ」本田信子（竹田市／73歳）、「犬のおまわりさん」坂井和代（野々市市／48歳）、「聖歌」渡会克男（柏市／62歳）
審査委員特別賞候補特別賞「竹田市民が引きつぐこと」佐藤龍馬（竹田市／10歳）、「散りざわの桜葉」阿南惟幾（長尾光玲（鶴ヶ島市／15歳）、「廣瀬中佐を憶う」児玉正明（竹田市／92歳）（敬称略）

帰り際、記念館の受付で、一冊の絵本に目ごとまりました。『ちいさい、ちいさいひこうき』。佐藤さんの



お話に、北田卓史さんが画を描いた、素敵な絵本です。記念館の記念に、私はひとつ、買い求めました。

「ごほん読んであげようか」。家に帰るとすぐ、私は二歳の息子に声を掛けました。息子は喜んで、私の膝の上に乗りました。息子は喜んで、私の膝の上に乗ります。私は、記念館の帰路にも我慢して一度も開かなかったその本を、息子と一緒に始めて開いたのでした。

「ちいさい、ちいさい、ひこうきに、こうすけくんがのったおはなしを、しましようか。」そんな、佐藤さんの優しい語り口で、物語は始まります。

庭で見つけた小さい飛行機に触れると、こうすけくんの身体は小さくなり、その飛行機の操縦席に収まります。小さい飛行機の案内で、こうすけくんはちょっとした冒険飛行に出掛けます。チュールップの中で蜂に遭い、海のような川の上を飛び、蝶にぶつかりそうになつて、やがて飛行機は庭に帰ってきます。

「サンキュー。おもしろかったね。」という、元の大きさに戻ったこうすけくんは家に入ります。そのとき、さりげなく、小さい飛行機をポケットにしまおうのです。

「ちいさいひこうき」とはなんでしょか。それは、子ども時代だけに乗れる、夢の世界への乗り物なのかもしれない。やがて大きくなったこうすけくんは、もう小さい飛行機に乗ることはできないのでしょ。その代わりに、子どもの

頃の夢の証を、ずっと大事にポケットの中に忍ばせているのです。

このとき私は、佐藤さんが生まれ育ち、そして成年とともに離れて行った竹田というまちのことに想いを馳せていました。もしかしたら、あの竹田というまちそのものが、佐藤さんにとっての「ちいさいひこうき」だったのかもしれない。それは、東京での創作活動の間、その湧水源として、常に佐藤さんのポケットの中にあつたのでしょ。絵本を読み終えた私に、二歳の子が「もういっかい」とせがみます。その振り向いた姿に私ははっとしました。膝の上に抱いたこの子にとって、私の身体はまるで操縦席なのでした。この子にとっての「ちいさいひこうき」は私なのだ。そのことを、佐藤さんは、さいごにそとと私に教えてくれたのでした。



天保の飢饉に立ち向かった

十一代藩主・中川久教

なかがわひさより

久教は、寛政12年(1800)近江(滋賀県)彦根藩の第13代藩主井伊直中の四男として江戸にて誕生しました。文化12年(1815)に十代藩主久貴の隠居により、久貴の長女絢の婿養子となり家督を相続しました。久教が16才、絢はまだ6才であったので、10年後に婚礼を執り行っています。

久教は、文化13年8月に植木にて荻野流鉄砲術の試し打ちを行っています。さらに、文政2年(1819)4月5日には、三宅山にて鹿狩を行い、この様子は岡藩御抱絵師であ



↑十一代藩主中川久教(碧雲寺蔵)

る淵野真齋らが描いたと伝えられる絵巻に収録されています。城から御狩場までと御狩場から帰城する様子を描いた各8巻の総延長約272頁、描かれている登場人数は2762人の大作です。

文政年間には、5年から相次ぐ大風雨洪水に続き、6年より降雨、初夏から早魃、虫害に見舞われています。天保3年(1832)の早害・洪水、同4年の早害・冷害・雨天による不作、翌5年の雨天、日照不足、早魃・冷気による不作、6年の二度にわたる風雨洪水、7年の早魃と大風雨、9年の大雨・冷害・不作と連年のように大きな被害を蒙っています。全国的に広がった江戸時代の三大飢饉のひとつ「天保の飢饉」は、岡藩においても壊滅的な被害をもたらしました。久教は、苦しい藩財政下においても願成院に薬師堂建立、西御郭御門御普請、太祖清秀公御神像制作、莊嶽明神御宮御普請などを手がけています。

久教は、38歳頃から持病の積気(発作性、反復性の腹痛)のため、江戸への参勤の延期を提出しています。40歳の時には眩暈(めまい)を発症し、翌年には帰城の途中に脚気を患い、看病・投薬の効果なく天保11年(1840)9月28日、岡城にて44歳で逝去しました。10月24日碧雲寺において葬儀・埋葬が行われました。(佐伯 治)

まるごと博物館

90

直入町長湯の御前湯温泉の下を流れる芹川の堰口の測から取り入れた「世利川井路」がある。この井路は「かぎ小野井路」とも呼ばれる。それは直入町かぎ小野地区を通っているからであるが、別名「肥後井手」ともいわれる。豊後の岡藩から開かれた井路がなぜ「肥後井手」と呼ばれるのかちよつと奇異である。一方、現在の県道今市野津原線の沿道に「肥後街道」の立て札が処々に立っているのと符合する呼称でもある。

この水路を通したのが肥後藩谷村惣庄屋の息子として生まれた工藤三助である。彼は水不足に悩む野津原地方に水を引くことを考え、秘かに大分川の支流朽網川(芹川)に水源を探り出した。しかし、肥後藩の者が岡藩から水を取り入れること、更には常識で



→「野津原三渠碑」

岡藩から取水された肥後井手

は考えられない難工事であり当初この計画は容易ではなかった。しかし土地測量の折衝などなど多くの苦難を乗り越えて遂に元禄16年(1703)かぎ小野井路開削の許可を得るや、自ら普請奉行となって工事に当たった。筆管に尽くせぬ幾多の苦難に挫折しそうになりながらも、人夫2万8千人を動員し4年の才月を要し総延長20km余、新田150町歩、古田190町歩を潤す肥後井手は宝永4年(1707)に完成した。これにより岡藩の水が肥後藩さらには府内藩(大分市)をも潤すこととなったわけである。

工藤三助の頌徳碑は旧野津原村澁水地区の中央に高さ3m、幅2m余の豪荘な自然石で嘉永6年(1853)に「野津原三渠碑」として建立されており、詳細な頌徳碑文が刻まれている。因みに、幕末の1864年、勝海舟が坂本龍馬とこの肥後街道を通り、碑文を見たことを「勝海舟日記」2月18日に記している。

参考「工藤三助頌徳碑」清水誠一

「身近な人が楽しく心を込めて」

朗読CD付き・読み聞かせ絵本「あまい宝石」を出版した

工藤由美さん

プロフィール
2012年4月、OBS大分放送を退職し、フリーアナウンサー・プロデューサーとして活動の場を広げる。話し方や正しい日本語を織り交ぜたビジネスマナー講師や各種講演で活躍。野菜ソムリエの資格も持ち、ヘルシー&ビューティにも造詣が深い。
竹田市出身。現在大分市在住
<http://あまい宝石.com/>



平成2年、竹田市が集中豪雨に見舞われ、工藤さんの母校竹田小学校の蔵書も氾濫した川に流出。当時勤めていたOBSでは、県内から本を募り、小

学校に寄贈しました。それからラジオ番組と読み聞かせのイベントが始まり、深く関わっていくきっかけとなりました。今回出版した絵本「あまい宝石」は、中学2年生時にご自身が書いた作文がベースとなっています。当時の先生が褒めてくれたその作文を母親礼子さんが大事に保管しており、引つ張り出しては、孫たちに読み聞かせてあげていました。

昨年の独立を機に、母娘の「いつか絵本にしたい」という長年の願いが実現することになったのです。

作品は、嫌われもののキツネ・フォックと人気者のこぐま・ベア。動物たちが暮らす村で起こる出来事を通して、仲間への思いやりの大切を教えてください。子どもが目を輝かせるような思いがけない展開となっています。

現在もイベントなどで読み聞かせの魅力を発信している工藤さん。「読み聞かせで大事なのは身近な人が



↑朗読CD付き絵本「あまい宝石」(文芸社・1470円)。絵はOBSのマスコットキャラクター・まるんちゃんでおなじみのイラストレーター、ジュンファントさんが独特の世界観を描く。



↑母校の竹田小学校を訪問。児童に絵本の読み聞かせを披露しました。

楽しく心を込めて読んであげること。相手との呼吸や反応を大切にしてください。幼い頃の読み聞かせは、家族との絆に効果があると思います。」

朗読CDを付けたのは、「へただから読まない」というお父さん、お母さんなどや読み聞かせをする人に『練習用として聞いてほしいからどうぞです。』

誰かに読んであげなくなる、とっておきの物語。いつまでも幅広く愛される絵本となることでしょう。



↑「竹田の名水と石橋」コース(竹田湧水群・河宇田湧水)



↑竹田らしく「式三番」で歓迎しました



↑「ミステリアス!竹田キリシタン」コース(久戸稲荷)

「日本エコミュージアム研究会 全国大会 in 大分竹田」開催!

「エコミュージアム」の全国的な情報交流や研究を深める「日本エコミュージアム研究会」の全国大会が3月8日、9日の2日間、市内で開催されました。8日、全国から訪れた参加者31名の「歓迎セレモニー」が塩津清人記念能舞台(向丁)で行われ、日本エコミュージアム研究会の吉兼秀夫会長から、「大会旗」が竹田エコミュージアム市民会議の佐藤美樹委員長に引き継がれました。

この日、参加者は2コースに分かれ、市内の名所旧跡を巡りました。現地では、ボランティアガイドや研究会グループのメンバーがガイドを務め、竹田の魅力を紹介しました。



↑交通安全協会竹田支部のみなさん



↑「マーフ」は着ぐるみのわんちゃんの名前。交通ルールを「ま」もる、マーフだそうです。

大分県交通安全広報紙「マーフしんぶん」が最優秀賞

「第32回大分県交通安全広報紙コンクール」が行われ、広報紙・女性交通指導員の部において、大分県交通安全協会竹田支部が発行する『マーフしんぶん』(月1回・小学校、幼稚園、保育園等の26施設配布)が2年連続で最優秀賞に輝きました。また、機関・団体の部においても『交通安全協会だより』(年4回・全戸班回覧、特別号は全戸配布)が優秀賞を獲得しました。



園児たちが「火災予防」を呼びかけ

『春の全国火災予防運動』期間中の行事として、市内各地域で火災防火訓練や防火パレードが行われました。

3月4日、久住地域では「久住保育所幼年消防クラブ」の防火パレードが行われ、園児たちはかわいい声で「火の用心」を呼びかけていました。

竹田市防犯協会連合会に感謝状

「竹田市防犯協会連合会」が犯罪の未然防止に積極的に取り組み、平成24年度中における県下の刑法犯罪防止に大きく貢献されたため、大分県警察本部から感謝状が贈られました。

また、『マーフしんぶん』は小学校児童向けと幼稚園以下園児向けの2バージョンを制作。文字はひらがなと漢字に分け、イラストも大きさを変えるなど、読んでもらえるような工夫をしています。

竹田支部のみなさんは「これからは読みやすい紙面づくりが心がけていきたい」と、明るい笑顔で語ってくれました。

した。

編集は、交通安全協会竹田支部の鍋川真由美事務局長、交通指導員の粟生奈津希さん、野村真衣さんの3名。活動報告のほか、交通のルールや標識をカラーイラスト等で、わかりやすく解説しています。



3月15日、竹田市消防本部新庁舎建設に伴い、安全祈願祭が行われました。

現在の消防庁舎は昭和49年3月に建設されたもので、建築後39年が経過し建物の狭隘化並びに老朽化が進んでいます。竹田市の防災拠点として数十



地域の未来・発展の拠点に! ネギノコミュニティセンター落成式

平成24年10月から建設が進められていた、ネギノコミュニティセンターが完成し、平成25年3月10日落成式を迎えました。

伝統の禰^ね疑^ぎ野^の神社の神楽に続き、餅まきも行われ、地元のみなさんで完成が祝われました。

竹田市消防本部が「新庁舎建設」安全祈願祭

より確保するため、新庁舎建設の運びとなりました。建設工事は平成26年12月20日まで行われます。工事期間中、火災や救急等の出動体制には万全を期します。

また、工事用車輛の出入等、近隣の住民の皆様にはご迷惑をおかけしますが、市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。



(新庁舎の完成イメージ)

年先を見越した庁舎整備の必要性を検討し、市民の安心安全を



下地敏雄さんが「男女共同参画推進大会」で講演

「平成24年度竹田市男女共同参画推進大会」が3月4日、竹田市総合社会福祉センターで開催されました。

今年は、教育アドバイザーの下地敏雄さんを講師に迎え、『夢と人』をテーマに講演し、「夢を諦めずに持ち続けること」や「夢を叶えるために努力をすることの大切さ」等をご自身の人生経験をもとに熱く語っていただきました。

奥豊後の米どころ、竹田から3年連続「特A」輩出!

(財)日本穀物検定協会が毎年行う食味評価試験で、本田喜一さん(米納・75歳)の竹田産ヒノヒカリが最高評価「特A」(平成24年度産)を獲得しました。

食味試験は、専門パネル20名が炊飯した供試米と基準米について、5項目(外觀、香り、味、粘り、硬さ)と総合評価を比較評価する相対法です。

農業歴50年以上の本田さんは、耕作面積2・5haのうち、現在半分の面積で水稻栽培を行っている。牛の堆肥を使った土づくりと、化学肥料は少ない目で農薬をほとんど使用しない



↑最高評価「特A」を獲得した本田さん

有機農法にこだわりを持つっており、「水管理と病気を出さないように心がけること」が美味しいう米づくりの秘訣だそうです。

本田さんは「竹田から特Aが出れば、みんなの励みになるから嬉しい。竹田のPRになればと思う」と話しています。

竹田市からは過去に吉野幸恵さん(平成22年度産)が食味ランキングで「特A」、城下安幸さん(平成23年度産)食味評価試験で「特A」を獲得しています。



岡城の魅力を発掘するぞ! 市民有志が「見てえんジャー」結成

岡城二の丸にある空井戸の底に1・2メートルの高さに掘られた横穴があり、観音像らしきものがあると云われています。現在、長年の堆積物によって、井戸は本来の深さではないため確認できない状態となっています。

空井戸の堆積物回収などの活動を通じて、岡城の魅力を全国に向けて発信すべく、市民の有志によって、井戸掘り戦隊「見てえんジャー」が結成されました。

3月20日、第1回目の空井戸の降下作業が行われました。今後の活動にご注目ください。



「はなちゃんのみそ汁」著者・安武信吾さんの食育講演会

子どもに何を遺して逝きますか

3月2日に「あなたは子どもたちに何を遺せますか」という演題で、「はなちゃんのみそ汁」の著者、西日本新聞社の安武信吾先生による、食育講演会を開催しました。参加者は食育の大切さを考える機会となりました。

「お金がないから外食で

大学生の食の現状を実際の写真を映しながら話されると、会場からは「まさか」という声が聞こえてきました。茶わん1杯のご飯の値段＝カップラーメン1/5個＝コンビニのおにぎり1/3個＝約30円。「お金がない



↑故・千恵さんと娘はなちゃんの思い出の写真



←「多くの子どもたちが台所に立つことで、社会が変わるんじゃないかと、妻は言いたかったのだと思う」と安武さん

「台所から世界を変える
安武先生の著書「はなちゃんのみそ汁」には、ガンで余命を

から作らない、時間がないから作らない、という言い訳はもうやめて、まずは台所に立つことから始めませんか。10年後、20年後のあなたの体に、食のツケは必ず回ってきます」という言葉から講演は始まりました。

覚悟した妻・千恵さんの生き様や、当時5歳の娘・はなちゃんに家事全般、特にごはんをつくることを教え、生きる力を遺したことが、そして、ふたり家族になつた現在までが綴られています。

- ◎千恵さんの子育て4カ条
- ・大人の都合に合わせない
 - ・してほしいことをしてみせる
 - ・家族で食卓を囲む
 - ・子どもに家事をさせる

千恵さんの想いがこもった言葉がスクリーンに映し出されると、会場からはすすり泣きが聞こえてきました。

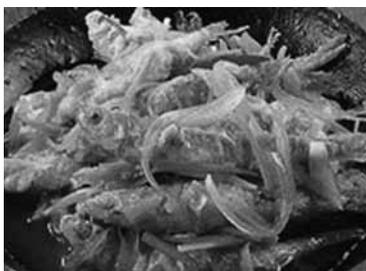
講演後、参加者たちは「だんご汁や鶏飯など、母に教わった通り作っています。私が娘に食べさせていれば食のバトンはき

ちんと受け継がれていく、私が作らなければバトンが渡せないと思いました。」「家計の中で削れるところは食費だ!」と思って安いものに走っていた私に、安いには安いなりの理由があることを教えていただきました。」

また同日、別室で竹田市の食育活動の展示も行い、学校給食や保育所、食生活改善推進協議会の取り組みを紹介。竹田市では今後も「竹田市食育推進計画」にそって、地域の方と一体となつて食育に取り組み、食と向き合う機会を増やしていきたいと考えています。

●お問い合わせ 竹田市健康増進課 63-4810

今月の食育レシピ



わかさぎの香味づけ

～旬のわかさぎ、丸ごと食べられてカルシウム摂取にも力を発揮～

〈材料〉4人分

- わかさぎ 12尾
- 小麦粉/揚げ油 適宜
- ネギ 2本
- 生姜 少々
- 唐辛子 1本
- しょうゆ 大さじ1
- 砂糖 小さじ1/2
- 酢+水 大さじ2
- かぼす(又はレモン) 適宜

作り方

1. わかさぎは小麦粉をまぶし、油で揚げる。
2. ネギ、生姜、種を取った唐辛子は刻み、一度温めて溶かした調味料に混ぜ合わせる。
3. 1の揚げたてを2に漬け込む。かぼす(又はレモン)を添えてレタスとともに盛りつける。



支援の手



↑(写真左から)加藤のぞみさん、竹下裕美さん、首藤玲奈さん、平川加恵さん(賛助出演)、紀野洋孝さん、土崎譲さん、池内響さん

昨年7月の九州北部豪雨で、「灌漑太郎記念全日本高等学校声楽コンクール」(通称・たきれん)会場である「竹田市文化会館」が被災したことを受けて、「竹田の復興のために何か力に

なれたら」と出身者有志が集まり、『コンツァートK.O.J.O(こじょう)』が企画され、3月18日、東京・北とびあつじホールで開催されました。なかでも、今回のコンサートのために編曲した六重奏「荒城の月」を出演者全員で合唱すると、聴衆から大きな拍手が起りました。たきれん出身者がプロとして

竹田のために東京在住『たきれん』出身者が集結!
聖地・竹田の復興を願う、チャリティー公演大盛況!



大阪からも故郷へエール

2月23日、関西・東海地域在住の竹田出身者及び竹田市縁の方々が会員となっている豊後竹田会の第3回総会が、大阪市北区スーパードライ梅田で開催されました。

被災した文化会館の復興を願って、参加者から募金が集められ、文化会館復興寄附金として市に寄付をしてもらえることになりました。遠く離れた大阪の地からも故郷・竹田に力強いエールをいただきました。

成長を遂げた姿は、竹田市民に「勇氣」と「希望」を与えてくれるに違いありません。なお、このコンサートの収益金の一部を「文化会館等復興基金」に寄付していただきました。ありがとうございました。

待望の給水車を導入しました
「7・12竹田市豪雨災害」時に、他市の給水車に支援をいただきました。この度、竹田市においても有事に備え、平成24年度電源立地地域対策交付金事業により、「給水車」(容量2ト)を導入しました。



竹田の春を告げる「岡の里名水マラソン大会」が3月3日、スタート・フィニッシュ地点を文化会館から陸上競技場に移し、快晴のもと開催されました。

豊かな自然が続く「名水の里」を舞台に、参加ランナーは地元の人とのふれあいを楽しみながら完走を目指しました。



↑被災の痕跡が残る魚住橋付近

災害を乗り越えて!
「名水マラソン大会」開催

東京大学竹田市受託研究報告会開催

「志土知の風景と暮らし」

東京大学景観研究室の竹本福子さんが研究発表

東京大学景観研究室が市内志土知地区を研究の対象とし、昨年学生たちは長期間にわたり調査を行いました。

3月4日、その活動成果を発表する「平成24年度受託研究報告会」が地域住民や関係者を

集めて、志土知公民館で行われました。

東京大学工学部の中井祐教授福島秀哉助教による経過の説明に続き、東京大学景観研究室4年の竹本福子さんが「志土知の風景と暮らし」と題し、研究発



↑研究発表をする竹本福子さん(写真右)



↑報告を熱心に聞く志土知地区住民のみなさん



↑東京大学景観研究室のみなさん



↑棚田の風景が広がる地形や自然を表現した「志土知模型」

表を行いました。

『見上げるほどの水車があった』、『紫神社から公民館前広場まで、獅子が練り歩く風景』、『橋や石垣に使う石をつくる石切場』…。

竹本さんは、調査結果をまとめた「地図」や「年表」などを使い、地域住民から聴取した昔話から浮かび上ってきた「風景」と「暮らし」の関係性や移り変わりなどをわかりやすく解説しました。

報告会終了後、志土知自治会の小倉正夫自治会長は「地域の記録をまとめてもらいとても嬉しい。みんなの意識が変わったことが最大の成果だと思う。この結果を地域づくりに生かしていきたい」と語っていました。



姉妹都市
ドイツバート・クロツインゲンコーナー



クラウディア・ケール
A コラム by claudia kehl
(国際交流員)

ドイツ姉妹都市のニュース

①バート・クロツインゲン・フライブルク大学付属心臓病院センターに新しいハイブリッド手術室

心臓病院センターでは500万ユーロ(約6億円)がかかるハイブリッド手術室の構築が企画され、この度、粗構造が完工された。ハイブリッド手術室とは最新の心臓カテーテル検査室と外科手術室が一つになった部屋だ。ハイブリッド手術室では血管造影装置とコンピュータ断層撮影装置などが設置され、高品質の撮影の陰で、カテーテルあるいは内視鏡によって低侵襲手術が可能になる。つまり患者にとっては、小さ

な傷でリスクの少ない手術ができる。現在では心臓病院センターに約950人が勤め、バート・クロツインゲン市の中で一番大きな治療所となっている。

昨年4月フライブルク大学病院と合併し、1億5千万ユーロ(約180億円)売り上げを達し、ヨーロッパの中でも随一の心臓治療所になった。この合併によって経済的な安全保障も確立されたとメロート市長が述べている。ハイブリッド手術室の構造ができてから、外科も新設が企画され、今年建設が始まる予定だ。建設のときだけではなく、完工後も雇用が生まれ、病院の増築は、地域の将来の職業安定にも貢献すると考えられている。

②バート・クロツインゲン市で「職業学校」建設が決定

バート・クロツインゲン市が属しているブライスガウ・ホフシュワルト郡がバート・クロツインゲンで職業学校の建設を決定し、市が中間金融の利息を払うとバート・クロツインゲン市議会が合意した。周辺にある職業学校と協議し、バート・クロツインゲン市の職業学校の授業と職業訓練は、健康と養護を中心にするようになった。開校時には450〜500人の生徒と30人の先生が集まることが想定されている。バート・クロツインゲン中学校と高等学校のそばに作られる予定なので、将来的には、体育館と食堂を共同で使おうと考えられている。



↑バート・クロツインゲン・フライブルク大学付属心臓病院センター

竹田雑感 #39
～調査研究を通して見た竹田～

「人の温かさ」 —私が竹田で出会ったもの

東京大学橋梁研究室修士1年 飯島 怜 REI IJIMA



「人の温かさ」—私が竹田で出会ったもの。ずっと首都圏で暮らしてきた私にとって、竹田の人が竹田を愛し誇りに思いながら生活していることは、あまりにも新鮮でした。わずか3日間の滞在でしたが、至るところに溢れる人の優しさが伝わってきました。

昨年11月、志土知の地形調査を目的として、竹楽の期間に竹田市を訪れました。険しい地形、厳しさを物語る水害の跡、斜面に隙間なく並ぶ棚田。神々しい農村風景に目を見張る中で、何よりも強く感じたことは「人の温かさ」でした。棚田や井路を見てまわっていると、出会う人出会う人が声をかけてくれたり案内してくれたり。そして、話を聞いているとその話の節々から地元、人を大切に思う気持ちがいじみ出てくるのです。日常生活で地域の人のつながりをあまり感じることがない私には、そんな自然な光景がとても刺激的でした。また、日没後の寒さの中で催される竹楽は、人工的な明かりにはない揺らぎの絶妙さに加え、近隣の住宅の消灯や準備・撤収などの協力も感じられる温かいお祭りでした。周辺地域のみんなが手間を惜しまず協力し合っているということ、そして、その協力が人々を惹きつけ魅了する形になっていること、その活気に言い知れない感動を覚えました。

今回の訪問によって、私が思い描いてきた「農村」という概念は覆されました。「都市と違って色々なものが無い」のではなく、目にはハッキリ見えなくても「都市にはない様々なものがある」ということ。限界集落という単語を頻りに耳にするようになった昨今、身勝手にも農村と限界集落を混同していましたが、頑張っている元氣な農村にそんな単語は似ても似つかないということを感じ、むしろ、こういう活力が首都圏には不足しているように感じました。首都圏や観光地もいけれど、農村をはじめもつと色々な地域に目を向けたいな。そう思わせてくれる貴重な3日間でした。



厚生労働省パッケージ事業 「生き生き興起雇用創出大作戦！」

やっかいものの「竹」を「竹田」で活かす!

市民公開セミナーを開催しました

雇用創出事業の環境・エネルギー分野では、2月23日(土)「竹の有効活用」について市民公開セミナーを開催しました。昨年10月の地域福祉・介護分野、12月の健康づくり分野につづく公開セミナーですが、80名の市民が参加され活発な意見交換が行われました。基調講演では「竹」の有効活用と必要性というテーマのもと、講師である農業・畜産アドバイザーの柳本幸一郎氏(鹿児島県)から「竹粉」の肥料や畜産の飼料としての有効性を資料やデータに基づき、先進事例を交えてご紹介頂きました。

次いで、NPO法人里山保全竹活用百人会の井上隆理理事長から、「竹楽」の実践による環境保全や循環型社会の仕組みづくりについて、竹田市企画情報課から竹田市バイオスタウン構想の内容などの紹介がありました。

参加者全員による「100人討論!」では、(株)農都総研代表の川辺亮氏のコーディネートにより、参加者が8テーブルに分かれ、テーマ毎に活発な議論が交わされた後、3名の参加者が意見発表を行いました。

まとめとして竹田の地域資源である「竹」を見つめ直し使いこなそうと、竹田市の政策審議官でもある川辺氏が

ら「BBF 構想」*が提案されました。市民の手で活かすためには、地域ぐるみの積極的な取組や関係組織との一層の連携が不可欠です。参加者のアンケートからも「竹の魅力や可能性を知った。」「なんとか取り組んでみたい等」、高い関心を示す声が多数聞かれました。当協議会では4月から実証・実践的なセミナーを開催しますので市民の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

なお、4月の竹資源活用セミナーでは、農業分野での活用を促進するため専門講師を招き、肥料や飼料としての「竹粉」の威力を講演して頂き、併せて「竹粉」製造の実習を予定しています。お気軽にお問合せ下さい。

*「BBF 構想」= BBF (BamBoo Fuel × Food) —竹を活用した食農文化の創造と竹田市が誇る芸術文化の融合—詳しくは、上記のホームページ <http://taketa-syokuiku.org> をご覧ください。



昨年(2019年)の4月1日、岡藩城下町400年祭は、会々(あひひ)にある鏡処刑場跡の鎮魂祭から始まった。サンチャゴの鐘がキリシタンベルであるだけに、まずは、この処刑場で殉教したキリシタンの魂を慰めることから始めたいとの思いからであった。あれから、ちょうど1年。

この連載では、これまでに多くのキリシタン遺物を紹介してきたが、今回は、あえて弾圧のことにも触れておきたい。

ご存知のように、キリスト教禁教令が出されてからというもの、信者に対しては情け容赦ない残酷な拷問や処刑が待っていた。中でも、最も残酷な処刑方法に火あぶりと斬首があるが、それは、この鏡処刑場でも行われた。天明年間には、処刑された人たちの霊を慰めるための石碑が3本建てられている。(写真①)(左端の「無阿」と刻ま

れたものは、本来、「南無阿弥陀仏」と刻まれていたものが、洪水で破損したために二文字だけ残ったと言われる)寛文10年に信者が多かった岡藩では裁許所の設置が許可され、重大犯以外は独自に処罰してもよいということになった。

では、いったい何人のキリシタンが処刑されたのだろうか。裁許所設置後にここで処刑されたキリシタンの内訳をご紹介します。(ただし、正徳年間以後の数字には、キリシタン以外の罪人も多少含まれていると思われる)北村清士著「大分県の切支丹史料」によると、明暦年間(三代藩主 久清公)から安永年間(八代藩主 久貞公)の間に岡藩内で処刑されたキリシタン95名のうち、鏡処刑場で処刑されたキリシタンの内訳は、獄門1名、火あぶり29名、

磔(はりつけ)5名、斬首8名、その他1名の合計44名に上り、その中には、女性と幼い子どもも含まれる。彼らは死を恐れるどころか、殉教することを無上の喜びと信じており、嬉々として処刑の場に臨んだという。

これは、あくまでも私見だが、歴代藩主にとってキリシタンの処刑は苦渋の決断だったのではないだろうか。竹田にキリシタンが多かったことは、幕府にも知られていただけに、処刑の対象者がいないと虚偽の報告をするわけにはいかなかったであろう。最小限の犠牲者はやむを得なかったのかもしれない。しかし、キリシタンは決して罪人などではなく、時の権力者によって、その崇高な信仰の自由を奪われたにすぎない。キリシタンの悲哀はそれ尽きる。

鏡処刑場に散った竹田キリシタン

ミステリアス! 竹田キリシタン⑨ 「殉教編」

徳川幕府の弾圧にも屈することなく最後まで信仰を貫いた竹田キリシタン。彼らは鏡処刑場で殉教を遂げて天に召された。



↑昨年4月1日に行われた鎮魂祭の様子(写真①)

イエスは自らが磔になる直前まで神が奇跡を起こすと信じていた。だが、いつまでも奇跡は起きず、死の恐怖だけが迫ってきたのだ。彼はたまたま天に向かって「エリ!エリ!レマ、サバクタニ!(わが神よ、なぜ私をお見捨てになったのですか)」と叫んだ。きっと、ここで殉教したキリシタンも同じ思いだったにちがいない。今となつては、目を閉じて殉教を遂げたキリシタンの魂が、安らかに眠り続けてくれることを祈るばかりである。

現在の鏡処刑場跡は、全国でも例を見ない、行政による公園整備が行われて見違えるように明るくきれいなになっているが、竹田キリシタンに思いを馳せる時、決して忘れてはならない場所である。(後藤篤美)

「鏡如刑場鎮魂碑」
現在、周辺は整備されて公園となっている。



【制作・竹田市総合まちづくりセンター】



「弁当の日」と「自力登校」で感謝の心とたくましさを！

今月の学び舎 竹田市立直入中学校

直入中学校では、月1回「弁当の日」を設け、3年前から実施しています。これは、生徒が自分で弁当を作って学校に持ってくるという取り組みです。弁当の献立、買い出し、調理、おかず詰め、片付けなど全て生徒が自分1人で行います。親は見守るのが原則です。この取り組みを通して、生徒には「いただきます」の感謝の気持ちとやればできるという自信が生まれます。失敗することもありますが、その失敗の中から多くのことを学び、生きる力が身に付きます。



↑生徒のつくった「手づくり弁当」

生徒が作ってきた弁当を学校給食の栄養士さんに見てもらったり、市の食推進の方々におかずを作ってもらい、それを弁当に詰めたり、食に関する講演会を行ったりしました。3年前に始めた頃は、親に作ってもらったり、親に手伝ってもらったりする生徒がいましたが、今では、自分で弁当を作ってくる生徒がほとんどです。



↑「ジリッキー」杯優勝は？自力登校の励み

また、直入中学校では、5年前より、「1km前自力登校」を推進しています。通学路3か所に学校より1km手前であることを示す看板を設置し、そこから自力で登校するという運動です。昨年までは自力登校ができていた生徒は、約4割でした。そこで、今年は、PTAで保護者に呼びかけをしたり、生徒会では、生活・平和部が「ジリッキー」杯という優勝カップを自作し、月ごとに自力登校の割合が一番高かった学年を表彰するという取り組みを行いました。その結果、今では、病気や体調不良以外の生徒は自力登校ができています。雨の日でも、徒歩や自転車でも頑張っています。

その他、昼休みの筋力トレーニング、大きな声で行う「あいさつ運動」、途上国の子どものための「ペットボトルキャップ回収」にも取り組んでいます。このように、直入中学校では、何事にも自主的に積極的に取り組み、健やかな身体と豊かな心をそなえた生徒が育っています。

(加藤公治)

「新図書館」建設に向けて、国有地の売買契約を締結

「新図書館」の建設が予定されている現在の竹田幼稚園に隣接している旧検察庁官舎跡地を今後「城下町再生・情感まちづくり構想」に有効的活用するため、竹田市が購入することが決まりました。

3月14日、九州財務局大分財務事務所と当市の間で、国有財産売買契約を結びました。

〔所在地〕 竹田市大字竹田字向丁1992番地
〔面積〕 368・70㎡



↑九州財務局大分財務事務所の三代啓二郎所長（写真左）

町再生プロジェクト」や、竹田地域の皆様によってまとめたいだいた「中心市街地活性化構想」にとってもかせかない土地です。

九州財務局大分財務事務所の三代啓二郎所長は「竹田市はおかれましては、昨年大変な災害に見舞われており、復興・復旧の元気づくり事業としても、この土地が竹田市民の皆様に活用されますことは、地域への貢献にも繋がることでもあります。また、国におきましても売却収入が確保されます。地域連携における、地域貢献の模範事例であると考えております。」と挨拶を述べました。

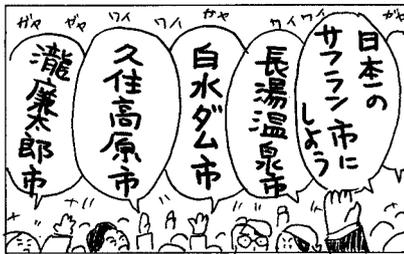
また、「城下町再生プロジェクト」では、近隣に淡窓伝光霊流日本詩道会本部の深田光霊さんの記念館（建設中）や人間国宝の喜多流能楽師塩津清人さんの「記念能舞台」、江戸時代豊後岡藩藩宮の御客屋（武家宿）で、明治時代には郵便電信局を設置していた市有形文化財の「喜多屋」などがあり、新図書館を中心とした区域を文教ゾーンとして考えています。

今回購入した土地は、「城下町」

裏小路を確保することにつながっており、現在、竹田の良さを感じていただけるように、構想を練っているところです。

少年たけたま

『改名記者会見』のまき



※今月号の「プクサン」はお休みします。

新刊のご案内

【一般の本】

- ・海賊とよばれた男 上・下巻 (講談社) 百田 尚樹
- ・おもかげ橋 (幻冬舎) 葉室 麟
- ・ティンホイッスル (角川書店) 中江 有里
- ・銀座の秘密 (中央公論新社) 白坂 亜紀
- ・「日本ブランド」で行こう (ウェイツ) アレックス・カー
- ・美しき日本の残像 (朝日新聞社) アレックス・カー
- ・東北のテマヒマ-衣・食・住- (マガジンハウス) 21-21DESIGN SIGHT
- ・日輪にあらず-軍師黒田官兵衛-(徳間書店) 上田 秀人
- ・世間遺産放浪記 俗世間篇 (石風社) 藤田 洋三
- ・にっぽん全国たのしい船旅 2012-2013 (イカロス出版)

【子どもの本】

- ・ふるさとおもしろ食べもの百科 九州・沖縄 (日本図書センター) 向笠千恵子
- ・おたんじょうびのひ (朔北社) 長谷川義史
- ・けとばしやまのいばりんぼ (小峰書店) 大道 あや
- ・かいけつツロリなぞのスパイとチョコレート (ポプラ社) 原 ゆたか
- ・闇を照らす六つの星 日本点字の父石川倉次 (汐文社) 小倉 明
他 30冊ほど入りました。

図書館のお知らせ

4月

- 竹田市立図書館 TEL・FAX63-1048
- 荻図書室(荻みらい館内) TEL・FAX68-2200
- 久住図書室 TEL76-0717・FAX76-0724
- 直入図書室 TEL75-2240・FAX75-2231

4月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

※カレンダー中の白抜きの日が休館日です。

※ 25年度より月曜日以外の祝日を開館します。
(H25年5月3日(金)・H26年2月11日(火)・
H26年3月21日(金)は開館となります。)

大人の本

「孫を100倍かわいく撮る」
(監修・GOTO AKI/ 木村文平/ 祥伝社)

孫とカメラを愛するじいじ、ばあばに贈る幸せを写す写真術！写真の基礎知識、カメラの基本操作から極上の撮影テクニック、撮った写真の最新面白活用までプロカメラマンが丁寧に指導するシニアのための写真塾です。

司書のおすすめ

子どもの本

「だっこし〜て だっこし〜て」
(木坂 涼 文・長野ヒデ子 絵/福音館書店)

月刊誌こどものとも0.1.2の4月号。
「だっこ」ってお互いの体温のやりとりでもあり、「安心」のやりとりでもあるんだそうです。
お子さんをひざに乗せてたづなり絵本を楽しんだあとは、もちろんお子さんを思いっきり「だっこ」してあげてくださいね！

誕生おめでとう

2 月生まれ (親・自治会)

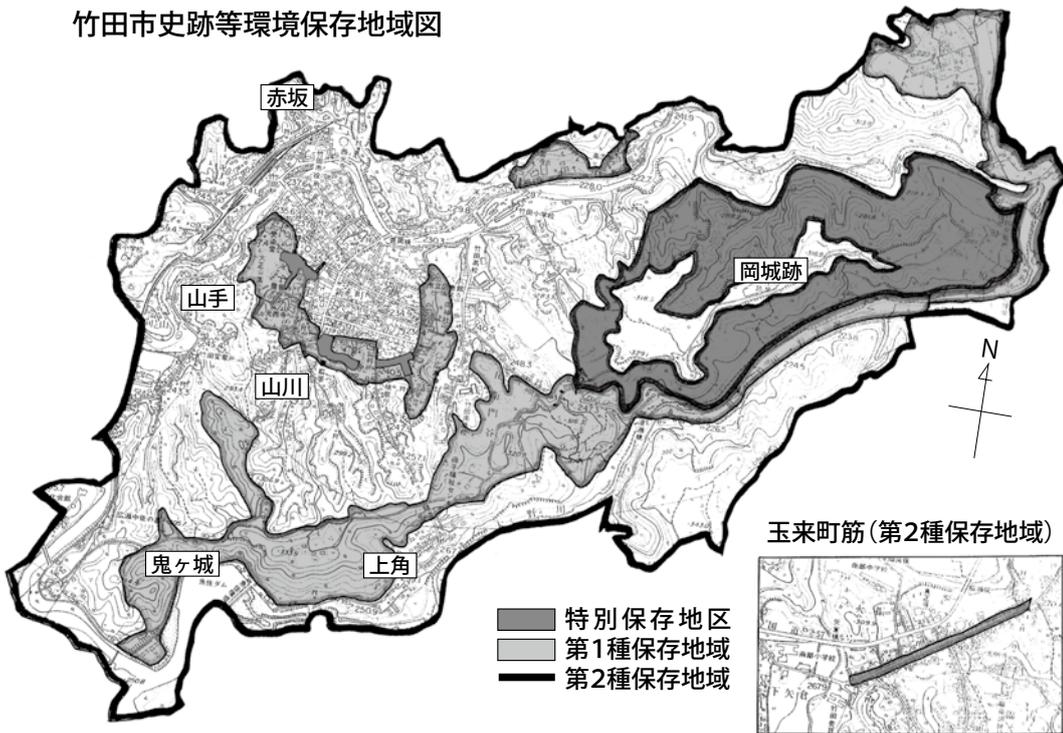
今月の読み聞かせ

今月の読み聞かせ

- ブックスタート 4月10日(水) 13:30～ (竹田市総合社会福祉センター)
- おはなしのへや 毎週火曜日 10:30～11:00 (竹田市立図書館えほんのへや)

4月のおはなしルームはおやすみとなります。5月から始まりますので楽しみに！
5月5日(日) 10時30分からこどもの日のおはなし会を開催します。
えほんのへやに来てくださいね！

竹田市史跡等環境保存地域図



竹田市史跡等環境保存条例をご存じですか？

保存区域内の風致向上にご協力を

竹田市では、本市の美しい自然環境と歴史的文化遺産を保存し、後世へ継承するため、竹田市史跡等環境保存条例を定め、

保存地域内における保存基準を設け、区域内における風致の維持向上を図っています。

保存基準とは、保存地区（特別保存地区・第1種保存地域・第2種保存地域）ごとに、高さ・色彩・形状等の基準を定めており、開発行為（新増築・改築・解体・造成等）を行う場合には、建築等計画書及び建築等設計概要届を教育委員会へ提出しなければなりません。提出された計画書・概要書について教育委員会が照査し、助言・指導または勧告を行います。

数多くの歴史的遺産が残される竹田市の景観を後世に保存・継承するために、条例の趣旨をご理解頂き、地域内での開発行為を実施する際には保存基準を遵守し、建築等計画書及び建築等設計概要届の提出を行うことをお願い致します。

竹田市史跡等環境保存条例に関することは、竹田市教育委員会文化財課（☎63-4818）までお問い合わせください。

豊後南画最後の大家作品・資料を歴史資料館に寄贈

南画家 草刈樵谷氏（1892～1993）の作品等 27 点が、樵谷氏のご子息玄氏から歴史資料館に寄贈されました。

草刈樵谷氏は田能村竹田のひ孫弟子にあたる方で、100歳を超えても創作意欲は衰えず、昭和 49 年には竹田市名誉市民になりました。また、田能村竹田研究の第一人者として知られ、全国の田能村竹田研究者に影響を与えました。今回寄贈いただいたものの中には、田能村竹田の書状があります。玄氏が編集・発行された『草刈樵谷』には、樵谷氏の漢詩文や玄氏の樵谷氏についての随想などが収録され、樵谷氏の事績を具体的に知ることができます。

玄氏は寄贈にあたり、「父の作品や父が収集した田能村竹田資料を活かして、豊後南画の研究を進めて欲しい。そして脈々と受け継がれてきた南画の里としての伝統を伝え、郷土竹田がより一層人々に知られるよう強く希望します」と述べられました。



↑田能村竹田書状



↑秋山晚晴図



←寄贈いただいた草刈玄氏

寄贈を受けて、歴史資料館には江戸時代から現代までの南画作品・資料が揃い、今後いっそう歴史資料館の展示が充実することが期待されます。

現在歴史資料館では、特別企画展「没後 20 年 草刈樵谷展」が開催されています（4月29日まで）。

あかく染まる山の復活を

環境省の自然公園指導員として活躍中の上好温^{かみよしあつし}さんは、久住町を中心に自然保護活動に取り組むNPO法人久住高原みちくさ案内人倶楽部(会員26人)の理事長として、高校教員を退職したあとも多忙な日々を送っています。

倶楽部の活動として、野焼きや草刈り、登山道の整備や登山ガイド、交流イベントなど、多岐にわたる事業が目白押しで、年間を通じて息つく暇もないのです。

それでも忘れられない言葉があります。「山があかくなつたなあ。満開になつたで」それは大船山の麓に暮らす人々が、6月に交わす合言葉でした。



↑大船山のミヤマキリシマ群落



↑3月3日。快晴とはいえ、辺りは霧氷に覆われていました。

40年程前の開花時は、大船の山頂付近が紅に染まるのを、麓の誰もが確認できたというのです。坊がづる讃歌²番「ミヤマキリシマ咲き誇り山くれないに大船の…(以下略)」がまさに実演されていたのです。

保護地区ゆえの苦難

国の天然記念物に指定された大船山頂を中心とした広大な保護エリアは、人の手が入られず、逆にノリウツギなどの樹木によって、群落が狭められる皮肉な事態を呼びました。そこで平成24年度事業として大分県を通じ、他樹木の除去を申請、山頂付近の一部のみが国の関係機関から許可を受け、昨年12月18日ようやく1回目の除去作業を行うことができたのです。

今年3月3日の最後の作業は、会員以外のボランティア34人を含む総勢42

市花「ミヤマキリシマ」を保護する取り組み

よみがえれ ピンクの絨毯^{じゅうたん}

九州の屋根「くじゅう連山」は、国指定の文化財である史跡「入山公墓」や天然記念物「コケモモ群落」と並び「大船山のミヤマキリシマ群落」が有名で、特にミヤマキリシマが咲き誇る5月から6月には、「ピンクの絨毯」と形容されるあでやかな姿をひと目見ようと、紅葉シーズンをしのぐ多くの登山客で賑わいます。

ところが、市の花でもあるミヤマキリシマが他の樹木の繁茂によって枯死し、昔に比べその数を大きく減らしていることも事実です。

今月号では、往年の輝きを取り戻すべく、ミヤマキリシマ群落の保護活動に取り組むNPO法人の挑戦をお伝えします。



↑除去作業に参加した皆さん(大船山頂を背に)

は不要という意見が、実はあります。

けれども、「そもそもミヤマキリシマ保護の目的で作られた区域なんだからそこだけは何としてでも守りたいのです」と、上野さんが熱く語りかけました。「なによりこの花は竹田市の市花なんですから」という力強い言葉を付け加えて。

同倶楽部は今年もボランティアを募集し、除去作業を継続する予定ですが、その前には複雑な許可申請事務が待ち構えています。

それを乗り越えるためにも、後押しとなる市民の賛同の声をいただきたい。そして実際の除去作業にも多くの市民に参加してほしい。それが上野さんの今、一番の願いです。

全員参加で群落保護を

人で実施し、一定の成果を収めました。

くじゅう連山は火山活動が終わり数千年もすれば、祖母山にも似たブナの森になるのだから、人工的な保護活動



郷土の植物

(289)

阿孫 久見

第97回

サクラソウ (サクラソウ科)

やや標高の高い山地の湿地を好む高さ25センチほどの多年草です。全体に白い縮れた毛があります。生育条件がよいと群落をつくりまします。

長い柄のある葉はすべて根生葉で、形は長楕円形で長さ10センチ、幅が6センチほどです。葉脈にそってシワがあり、ふちは鈍い重鋸歯があります。

春から初夏の頃、葉の中心から直立した花茎を伸ばし、上部が散形花序となり、その頂に紅紫色の径3センチほどの5深裂する合弁花を数個咲かせ

ます。花の形は下半部が細い筒形をした高杯形です。面白いのは雌しべが短いタイプと長いタイプがあります。したがって個体により雄しべも雌しべの長短によって上部と下部とにつきます。和名の由来は花がサクラに似ているので桜草の名があります。

竹田ではくじゅう山系の高原のくぼ地や疎林内の沢沿いで観察されますが行楽客が盗採して減少しています。大分県の絶滅危惧種。

花期は4月から5月です。



アッパレ! 100歳

もり森 ミヨシさん (橋宇津)

3月12日に森ミヨシさんがめでたく100歳を迎えました。營生地区上今生まれ。兵庫県明石の紡績会社に勤務を経て帰郷。農業(水稲、カボス、野菜など)に従事し、若い頃から「働き者」と評判でした。長生きの秘訣は「仕事をするだけ。働くことが楽しいですね」とミヨシさん。いつまでもお元気で!

すくすく1歳



平成24年4月生まれ

誕生日 親 (地区・自治会)

語り部と、竹田の町を見て歩く会

〔第1回 城原井路を訪ねる〕

日時 4月17日(水) JR 豊後竹田駅前 8:50 集合
場所 城原井路を取水口から、落門の滝まで散策。
参加料 500円 (開催日3日前まで申込可)

〔共催〕 竹田観光ボランティアガイド委員会・岡の里事業実行委員会

●お問い合わせ 竹田創生館 ☎ 62-4100

英雄寺ぼたん祭り 花祭ぼたん会

岡藩主、三代中川秀成公が慶長2年(1597年)第2次朝鮮の役の時部下、永田新右衛門秀盛・村治五郎太右・郡次郎兵衛の3士に命じ持って帰られた名花『朝鮮ぼたん』が咲き誇ります

日時 4月20日(土)
場所 安産地藏尊霊場曹洞宗龍泉山 英雄寺

●お問い合わせ 英雄寺 ☎ 63-1516

荻神社春季大祭「ゆたて」

県無形民俗文化財「荻神社ゆたて」は、荻神社の祭りに奉納される、斉庭の前の2つの大釜の湯を神に供え、祝詞の奉呈後、笹で湯を振り散らします。「ゆたて」の湯がかかると魔除け厄病除け、長寿になると云われています。

日時 4月26日(金) 12:00～神事
12:30～五方礼始 13:00～ゆたて

場所 「荻神社」(竹田市荻町新藤1039/市道荻・菅生線、広域農道沿い)

※駐車場の設備はありません。JR 豊後荻駅からタクシーで5分、徒歩20分

●お問い合わせ 竹田市荻支所いきいき市民課 ☎ 0974-68-2215

祖母山山開き

開催日 5月3日(金) 場所 祖母山山頂
(少雨決行 ※雨天 時は7時に決定)

内容 11時30分から山頂祭・神事
※山頂祭終了後、登山者に記念品のバンダナを配布します。

〔当日連絡先〕 神の里交流センター「緒環(おだまき)」 ☎ 0974-67-2288

※本年担当市は豊後大野市で宮崎県高千穂町、竹田市と3市主催で行います。

●お問い合わせ 竹田市商工観光課 ☎ 0974-63-4807

第25回大野川源流祭り

日時 5月3日(金) 10:00～
場所 陽目の里キャンプパーク
内容 春の山菜リゾットの無料配布(数量限定)、エノハのつかみ取り、野点、スタンプラリー、ステージイベント(竹田高校器楽部演奏・現代尺八とピアノのコラボ・久住高原くたみ大鼓・橘木神社神楽ほか)

※バザーの出店者を募集中!4月15日(月)締切り

※荻福祉健康エリアから会場まで無料シャトルバスを運行します。ご利用ください。

●お問い合わせ 大野川源流祭り実行委員会事務局 (荻支所産業建設課) ☎ 68-2215

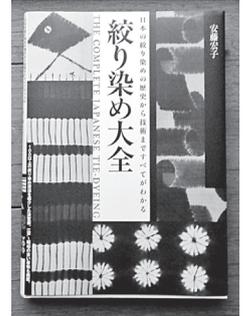
大分市出身の染色家 安藤宏子さんの『絞り染め大全』が刊行されました!

日本の絞り染めの歴史から技術まですべてわかる『絞り染め大全』(誠文堂新光社出版・安藤宏子著)

絞り染めは、布をくくったり、縫い締めたりして、その部分に染料が入らないようにして様々な文様を染め出す染織技法のひとつです。

絞り染めは、文様を染め出す技法としては、比較的、原始的な方法であり、日本はもちろん世界各地にも存在しています。

日本の絞り染めの代表的な技法である「豊後絞り」(竹田市は藍染めに適した土地として、その文化が息づいていました)も紹介されています。



歴史資料館

☎ 63-1923

〔開館時間〕 9:00～17:00

〔休館日〕 月曜日。祝日の翌日(月曜日が祝日の場合は開館)

○特別企画展

『没後20年 草刈樵谷展』

3月15日(金)～4月29日(月・祝)

草刈樵谷氏のご子息玄氏から今年2月に寄贈を受けた作品を中心に、最後の豊後南画の大家の業績を紹介します。

※「伝淵野真齋筆 岡城真景図屏風」を展示中です。江戸時代に描かれた岡城の偉容をご覧ください。

市民ギャラリー 水琴館

☎ 63-2200

〔開館時間〕 9:00～17:00

〔休館日〕 月曜日。祝日の翌日(月曜日が祝日の場合は開館)

○『写団ちくでん写真展 四季展』

3月24日(日)午後～4月7日(日)

会員各自の半折判または四切写真40点を展示。

(写団ちくでん ☎ 63-1464〔佐藤〕)

○『第4回 花わらび型染展』

4月10日(水)～4月21日(日)

型染、パネル、タペストリー等を展示。

(菅淳子 ☎ 62-2420)

○『竹田市美術協会写真部作品展』

4月23日(火)午後～5月6日(月・祝)

竹田市美術協会写真部会員の作品を50点展示。

(竹田市美術協会写真部 ☎ 62-3110〔工藤〕)

※休館日は、月曜日(月曜日が祝日の場合は開館)と祝日の翌日です。4月9日(火)は展示替えのため休館いたします。ご迷惑をお掛けしますが、よろしくご了承のほどお願い申し上げます。

※なお、展示内容の詳細を知りたい方は、申込者へ直接お電話ください。

年金

平成25年度年金出張相談のご案内

場所 竹田市高齢者いきいき交流センター
(竹田市総合社会福祉センター裏)

時間 10:00～15:00

受付 一部予約制。1か月前から前日迄に、直接年金事務所に予約してください。当日の受付も可能ですが、待ち時間が長くなることも考えられます。

平成25年度 年金相談日と開設時間

4月17日(水)、5月15日(水)、6月19日(水)、7月17日(水)、8月21日(水)、
9月18日(水)、10月16日(水)、11月20日(水)、12月18日(水)、1月15日(水)、
2月19日(水)、3月19日(水) ※時間はいずれも 10:00～15:00

お問い合わせ 日本年金機構大分年金事務所
(お客様相談室) ☎ 097-552-1211

消費生活相談

消費生活相談窓口からの注意喚起

— 未公開株等の二次被害 —

過去に未公開株や社債などの投資における金融取引で被害に遭った人に「被害回復できる」「損害を回収する」などと偽り手数料などを騙し取る詐欺が急増しています。見知らぬ業者からの「損を取り戻しましょう」などという勧誘には絶対に耳を傾けないように注意しましょう。

●お問い合わせ

- ◎竹田市役所 市民課窓口(消費生活センター)
☎ 63-4834 8:30～17:00(月～金 平日のみ)
- ◎大分県消費生活・男女共同参画プラザ(アイネス)
☎ 097-534-0999

環境衛生からのお知らせ ☎ 63-4821

●犬の狂犬病の注射について

4月・5月・6月は狂犬病予防注射期間です。飼い主の方は、年に1回この期間に予防注射を受けなければなりません。4月の集合注射を受けられなかった方は、6月末までに近くの動物病院で受けてください。

●犬の登録について

生後91日以上の子犬を飼い始めたら30日以内に市役所窓口(本庁・環境衛生課・支所・いきいき市民課)で登録をして下さい。(登録費用 3,000円)犬の鑑札を交付します。

●犬の転入・譲渡及び死亡について

犬の飼い主で竹田市に転入された方や犬の譲渡をされた場合も本庁または支所に連絡ください。(1度登録した犬は登録費用が要りません)

また、飼い犬が死亡したときは速やかに本庁・支所に連絡ください。

●犬の放し飼い及び犬の糞について

犬の放し飼いは「竹田市畜犬取締り条例」によって禁止されています。夜間などに放し飼いにする方が見られます。放し飼いはやめましょう。

犬の散歩のときなどは、必ず掃除道具を持って犬の糞を持ち帰るようにしましょう。

福祉

はり、きゅう、あん摩マッサージ指圧施設の利用助成をします(施設利用証交付)

はり、きゅう、あん摩マッサージ指圧の施術に対して、

助成制度があります。

対象者 市内に住所を有し、満年齢65歳以上の方。

助成内容 1人につき年6回以内で、施術1回につき1,000円の施設利用証を利用できます。

申込方法 竹田市福祉事務所、または各支所いきいき市民課備え付けの申込書に記入し、押印の後、お申込みいただければ施設利用証を交付します。

- お問い合わせ 竹田市福祉事務所福祉係 ☎ 62-4811
荻支所いきいき市民課 ☎ 68-2213
久住支所いきいき市民課 ☎ 76-1113
直入支所いきいき市民課 ☎ 75-2213

在宅高齢者及び重度障がい者の方の住宅改造を助成します

在宅高齢者及び重度障がい者の方の身体機能の低下や身体機能障がい等による在宅生活における不便や危険を軽減するため、住宅改造費の助成制度があります。

○対象者

《在宅高齢者》

- ・原則として要介護認定を受け、要支援以上の判定を受けた高齢者のいる世帯
- ・生計中心者の前年の所得金額が200万円未満の世帯

《在宅重度障がい者》

- ・重度障がい者(身体障害者手帳1、2級・療育手帳A1、A2・精神障害者保健福祉手帳1級の方)のいる世帯
- ・生計中心者の前年の所得金額が200万円未満の世帯

○申込方法

5月10日(金)までに福祉事務所福祉係へ必要書類(申請書・個別調書・見積書・現場見取図・現況写真・補助金申請用税務証明書・誓約書)を提出して下さい。(事前着工不可)。※詳しくは福祉事務所までお問い合わせください。

- お問い合わせ 竹田市福祉事務所福祉係 (☎ 63-4811)

第24回豊の国ねりんピック「シルバー作品展」作品募集

5月29日(水)～6月2日(日)にアートプラザ(大分市)で開催される「シルバー作品展」に出品する作品を募集します。

1. 出品資格 県内在住の60歳以上のアマチュアの方(昭和29年4月1日以前に生まれた方)

2. 出品作品 ①出品者個人が創作し、未発表のもの。
②各部門ごとに1人1点

3. テーマ 特に定めない。

4. 出品料等 出品料は無料です。

5. 出品部門

- ①日本画の部……日本画、水墨画
- ②洋画の部……油絵、アクリル画、水彩、素描、パステル画
- ③彫刻・彫塑の部…彫刻・彫塑、その他立体作品
- ④工芸の部……陶芸、染織、漆芸、金工、木竹、人形、その他
- ⑤書の部……漢字、かな、篆刻、調和体及び前衛、刻字を問いません。
- ⑥写真の部……カラー、モノクロは問いません。

6. 提出期限 4月26日(金)

7. 申込方法 福祉事務所、各支所いきいき市民課窓口備え付けの出品申込書を提出してください。

- お問い合わせ 竹田市福祉事務所福祉係 ☎ 63-4811

平成 25 年度慰霊巡拝について (お知らせ)

平成 25 年度における慰霊巡拝が、下記日程で予定されていますので、お知らせいたします。

なお、実施予定期間・実施期間・募集予定人員は、現段階の案であり、変更することがあります。

詳細につきましては、厚生労働省社会・援護局援護企画課外事室までお問い合わせください。

	派遣地域	実施予定時期	実施期間 期間(日間)	募集予定 人員(名)
1	旧ソ連 クラスノヤルスク地方	8/20(火)~25(日)	6	15
2	旧ソ連 アルタイ地方	8/26(月)~9/2(月)	8	15
3	旧ソ連 ハバロフスク地方	9/2(月)~9/9(月)	8	15
4	旧ソ連 沿海地方	9/25(水)~10/2(水)	8	15
5	モンゴル モンゴル	9/1(日)~7(土)	7	15
6	中国 東北地区	9/9(月)~18(水)	10	10
7	南方 硫黄島(第1次)	6/10(月)~11(火)	2	100
8	南方 インドネシア	10/3(木)~11(金)	9	15
9	南方 ビスマルク・ソロモン諸島	10/19(土)~26(土)	8	20
10	南方 硫黄島(第2次)	11/12(火)~13(水)	2	100
11	南方 東部ニューギニア	11/9(土)~16(土)	8	30
12	南方 ミャンマー	1/24(金)~2/2(日)	10	15
13	南方 フィリピン	2/19(水)~28(金)	10	60
14	南方 硫黄島(第3次)	2/25(火)~26(水)	2	100

●お問い合わせ

援護企画課外事室 ☎(03)3595-2469(直通)

〈硫黄島〉外事第一係 (内線 3499)

〈旧ソ連、モンゴル、中国、ミャンマー〉外事第二係 (内線 3480)

〈インドネシア等、その他南方地域〉外事企画係 (内線 3478)

消 防

平成 25 年度(第1回)危険物取扱者試験が実施されます

実施機関 (財)消防試験研究センター大分県支部

実施日 平成 25 年 6 月 23 日(日)

試験会場 豊後大野市・県立三重総合高校他

願書の配付 竹田市消防本部他、県下各消防本部・消防試験研究センター大分県支部等で、配付しています。

受付期間 [書面申請]

平成 25 年 4 月 19 日(金)~5 月 7 日(火)

[電子申請]

平成 25 年 4 月 16 日(火)~5 月 4 日(土)

提出先 (財)消防試験研究センター大分県支部

☎ 097-537-0427

〒870-0023 大分市長浜町2丁目126の10

昭栄ビル 2 階

●お問い合わせ 竹田市消防本部 警防課 危険物係

☎ 63-0119

防 災

風水害発生時の避難勧告・避難指示の伝達方法が 4 月 1 日から変わります

風水害発生時の避難勧告・避難指示を的確に伝達するため、避難勧告・避難指示を発令した際に、従来のアナウンスに加えてサイレンを吹鳴することに大分県下で統一されました。

竹田市でも、4 月 1 日から従来の告知放送に加えてサイレン(2 回)を吹鳴しますので、風水害発生時のサイレン吹鳴には十分注意をお願いします。

避難勧告・避難指示の伝達方法(サイレン吹鳴 2 回)

なお、避難勧告・避難指示の伝達は、「緊急速報メール(エリアメール)」でも配信します。

チャイム♪ → 避難勧告等が発令された旨のアナウンス → サイレン吹鳴 → 休止 → サイレン吹鳴 → 避難勧告等が発令された旨のアナウンス → チャイム♪

※緊急速報メール(エリアメール)とは、携帯電話向けの災害情報伝達手段で、竹田市内の携帯電話基地局エリア内において、「緊急速報メール(エリアメール)」受信機能を持つ携帯電話に、メールアドレスに関係なく一斉に情報を配信するシステムです。

※緊急速報メール(エリアメール)は、一部の携帯電話で対応していないものや、設定変更が必要な機種があります。詳しくは販売店にお問い合わせください。

●お問い合わせ 竹田市総務課 ☎63-1111(内線 213・219)

感電事故防止のお願い

鯉のぼりの季節になりましたが、感電事故防止のため、電線付近での鯉のぼりの掲揚や魚釣りは絶対に行わないように、お願いします。

なお、万一鯉のぼりや釣り糸が電線にかかった場合は、自分で取ろうとせず、九州電力三重営業所まで連絡をしてください。

●お問い合わせ

九州電力三重営業所 ☎ 0120-986-505

竹田市のこよみ

4月 2013年(平成25年)

日	SUN	月	MON	火	TUE	水	WED	木	THU	金	FRI	土	SAT
			1 ・歴史資料館特別企画展『没後20年 草刈樵谷展』～4/29(月・祝) ・荻の里温泉全館休館日 ・市民ギャラリー水琴館「写画ちくでん写真展 四季展」～4/7(日) ・「陽目の里名水茶屋」開店日(今シーズン)	2 ・おはなしのへや 10:30-11:00(竹田市立図書館えほんのへや)	3 ・陽目の里「名水茶屋」休業日 ・こころの健康相談 13:30-15:30(直入保健福祉センター): 要予約 ☎63-3346	4 ・竹田温泉「花水月」休館日	5 ・第4回農業委員会総会 13:30～(竹田市総合社会福祉センター多目的ホール)	6 ・宮城の里しだれ桜まつり 11:00-16:00(中央公民館宮城分館および周辺)～7(日)					
	7 ・竹田市長・竹田市議会議員選挙告知日(立候補者届出日) 8:30-17:00 (市役所3階会議室)	8 	9 ・竹田市立中学校入学式 10:00-12:00 ・おはなしのへや 10:30-11:00(竹田市立図書館えほんのへや) ・こころの健康相談 13:30-15:30(竹田古町会場) ☎63-3346	10 ・陽目の里「名水茶屋」休業日 ・竹田市立小学校入学式 10:00-12:00 ・市民ギャラリー水琴館「花わらび染展」～4/21(日) ・ブックスタート 13:30～(竹田市総合社会福祉センター) ・3・6・12か月児健康診査(3か月・6か月)13:00-13:20 受付(12か月)13:20-13:40 受付(竹田市総合社会福祉センター)	11 ・豊肥子牛市場(9:30セリ開始) ・竹田市立幼稚園入園式 10:00-11:00 ・竹田温泉「花水月」休館日	12 ・おも城サイトミュージアム 13:00～(岡城跡駐車場) ※要予約:文化財課 ☎0974-63-4818	13 ・童謡と絵本の会 10:00-11:30(佐藤義美記念館(このこのおうち))						
14 ・竹田市長選挙 ・竹田市議会議員選挙投票日 7:00-18:00 (市内20投票所) 20:00開票(竹田市総合社会福祉センター)	15 ・荻の里温泉全館休館日	16 ・おはなしのへや 10:30-11:00(竹田市立図書館えほんのへや)	17 ・温泉療養文化館「御前湯」休館日 ・語り部と竹田の歴史を見て歩く会『城原井路を訪ねる』JR豊後竹田駅前8:50集合※1 ・陽目の里「名水茶屋」休業日 ・年金相談10:00-15:00 ※要予約(竹田市高齢者いきいき交流センター) ・日本年金機構大分年金事務所 ☎097-552-1211(お客様相談室) ・大分県行政書士会無料相談会 13:00-16:00(大分県行政書士会(大分市)) ☎大分県行政書士会事務局 ☎097-537-7089 ・1歳6か月児健康診査 13:00-13:20 受付(竹田市総合社会福祉センター)	18 ・こころの健康相談 13:30-15:30(荻福祉健康エリア): 要予約(☎63-3346) ・竹田温泉「花水月」休館日	19 ・豊肥成牛市場(9:30セリ開始) ・食育の日	20 ・英雄寺ぼたん祭り花祭 ・ぼたん会(安産地藏尊霊場曹洞宗龍泉山「英雄寺」) ☎英雄寺 ☎63-1516							

※1 竹田創生館 ☎62-4100

21
 ・第45回荻地域自治会対抗ソフトボール大会
 (荻小グラウンド、緑中グラウンド、荻福祉健康エリアグラウンド9:00開会式)



22
 ・市民ギャラリー水琴館「竹田市美術協会写真部作品展」～5/6日(月・祝)
 ・おはなしのへや
 10:30-11:00
 (竹田市立図書館えほんのへや)
 ・こころの健康相談
 13:30-15:30(竹田市総合社会福祉センター)
 : 要予約(☎63-3346)

23
 ・陽目の里「名水茶屋」休業日
 ・第5回竹田市椎茸品評会表彰式10:00-11:00(農協2階)

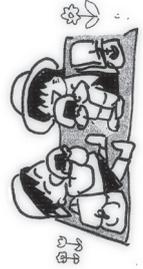
24
 ・こころの健康相談
 13:30-15:30(久住保健センター): 要予約(☎63-3346)
 ・竹田温泉「花水月」休館日

25
 ・荻神社「ゆたて」
 12:00-13:30(荻神社境内)
 ・おも城サイトミュージアム
 13:00～(岡城跡駐車場)
 ※要予約: 文化財課
 ☎ 0974-63-4818

26
 ・第20回B&G財団会長杯争奪直入カップバレーボール大会9:00-17:00
 (竹田市B&G直入海洋センター体育館)
 ・童謡と絵本の会
 10:00-11:30(佐藤義美記念館「このこのおうち」)

27

28
 ・昭和の日
 ・「第31回久住山岳滑翔大会(グライダー)」
 (公益財団法人日本学生航空連盟・主催) 10:00～
 (久住滑空場・中部牧場内)～5/5日(日)まで



29
 ・おはなしのへや
 10:30-11:00(竹田市立図書館えほんのへや)
 (納期限)
 固定資産税(全納・1期)

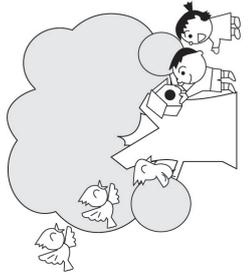
30
 ・緑の募金 (1/15(火)～5/31(金))
 ・みどりの月間(4/15(月)～5/14(火))
 ・世界自閉症啓発デー 4/2(火)
 ・世界保健デー 4/7(日)
 ・製品安全点検日 4/9(火)
 ・交通事故死ゼロを目指す 4/10(水)
 ・科学技術週間 (4/15(月)～21(日))
 ・平成25年 春の全国交通安全運動「おこさず あわす 事故ゼロ」(4/6(土)～15(月))
 ・未成年者飲酒防止強調月間 (4/1(月)～30(火))

月間・その他

31
 ・おはなしのへや
 10:30-11:00(竹田市立図書館えほんのへや)
 (納期限)
 固定資産税(全納・1期)

32
 ・おはなしのへや
 10:30-11:00(竹田市立図書館えほんのへや)
 (納期限)
 固定資産税(全納・1期)

33
 ・おはなしのへや
 10:30-11:00(竹田市立図書館えほんのへや)
 (納期限)
 固定資産税(全納・1期)



◇ 2013年5月の予定
 5月3日(金) ・第25回大野川上流源流祭り 10:00-15:30 (陽目の里キャンピングパーク)
 ・祖母山山開き 11:30～山頂祭(祖母山山頂)
 7日(火) ・こころの健康相談 13:30-15:30(直入保健福祉センター): 要予約(☎63-3346)
 ・荻の里温泉全館休館日

4月行政相談員による行政相談所の開設一覧

地域	相談日	時間	開催場所
竹田	4月17日(水)	10:00～12:00	竹田市社会福祉センター相談室
荻	4月18日(木)		荻支所 1階厚生室

●お問い合わせ 竹田市総務課行政係 ☎63-1111(内線211)
 ※行政相談に関するお問い合わせは、行政相談委員まで
 (小川晴義 ☎62-3662、太田正一 ☎68-2480、児玉龍明 ☎75-2426)

農業委員会事務局農地係からのお知らせ

・農地に係る各種申請受付の締め切りは、毎月15日です(15日が土日の場合は直前の金曜日が締切日となります)。
 ●お問い合わせ 竹田市農業委員会事務局 ☎63-4815

入園式・入学式

- 保育所・保育園
 - 3月30日(日) あさひヶ丘保育園
 - 4月1日(月) 玉来保育園、久住保育園
 - 2日(火) 竹田保育園、荻保育園、白丹保育所、小羊保育園
 - 6日(土) 都野保育園、なおいり保育園
- 幼稚園
 - 4月8日(月) しらゆり幼稚園
 - 11日(火) 竹田幼稚園、南部幼稚園、直入幼稚園
- 小学校
 - 4月10日(水) 竹田小学校、豊岡小学校、南部小学校、祖峰小学校、菅生小学校、宮城台小学校、城原小学校、荻小学校、白丹小学校、久住小学校、都野小学校、直入小学校
- 中学校
 - 4月10日(火) 竹田中学校、竹田南部中学校、緑ヶ丘中学校、久住中学校、都野中学校、直入中学校
- 高校
 - 4月9日(火) 竹田高校、竹田南高校
 - 10日(水) 三重総合高校久住校、竹田支援学校

住民票

住民票の写し等の住所表記が変わります

平成25年4月1日から、住民票の写し等の住所表記に、方書(集合住宅等の名称、居室番号など)を追加します。

【例】

〔現 行〕竹田市大字会々1650番地

〔変更後〕竹田市大字会々1650番地 △△アパート
101号

※現在、集合住宅等にお住みの方で、転入、転居届の際に方書を届け出していない場合には、平成25年4月1日以降も住民票の写し等の住所に方書は表記されません。

方書の表記を希望される場合には、市民課または各支所いきいき市民課で方書登録の手続きを行っていただく必要があります。

●お問い合わせ 竹田市市民課
☎ 63-1111(内線 111・112)

生涯学習課

平成25年度竹田市高齢者大学の受講生募集

生涯学習課では、概ね65才以上の学習意欲のある方を対象に、時事問題や一般教養、健康や文化に関する学習会を開催しています。

竹田・荻・久住・直入の地域ごとに4つの学級があり、年間3回合同学習会を行います。

受講を希望される方はお電話でお申し込みください。

開講式 5月9日(木)予定

締切り 4月26日(金)まで

●お問い合わせ 竹田市教育委員会生涯学習課 ☎ 63-4817
荻公民館 ☎ 68-2025 久住公民館 ☎ 76-0717
直入公民館 ☎ 75-2240

◇公民館のお知らせ

竹田市公民館岡本分館は4月1日より旧岡本小学校(竹田市大字三宅1559番地1)となります。

電話番号は変わらず ☎(0974)62-3863です。

支給

原材料(法定外公共物)を支給します

竹田市では、法定外公共物(里道・水路)の機能管理に関し、維持補修工事に必要な原材料を予算の範囲内で支給します。

◇支給対象

支給対象となる法定外公共物は、工事にあたり隣接者及び関係住民の承諾が得られており、次の各号のいずれかに該当するものとします。(道路については幅員が概ね1.5m以上あるもの)

- (1)現に市民が頻繁に通行している生活道路で、両端、または一端が公道(国道・県道・市道)に接続しているもの。
- (2)通園、通学路、または公共施設に連絡している道路。
- (3)市道の路線変更等により法定外公共物となった旧市道。
- (4)現に2戸以上が利用している生活排水路(開発行為により帰属し、または市営住宅の払下げにより残存した水路)。

◇支給基準 原材料の支給は、次のとおりとします。

- (1)種類…生コンクリート、レミファルト、砕石、セメント、砂、コンクリート2次製品その他市長が認めるもの。
- (2)数量…原材料費の合計額が概ね10万円以内とする。

◇申請手続

自治会長は、原材料を必要とする場合、原材料支給申請書に工事箇所の写真を添付して提出してください。

●お問い合わせ 竹田市建設課 道路管理係
☎ 63-1111(内線 248)

国民健康保険の届出をお願いします！

職場の健康保険や後期高齢者医療制度などに加入していない人は、すべて国民健康保険に加入しなければなりません。次のような場合は、必ず14日以内に市保険課、または各支所いきいき市民課で手続きをしてください。

	内 容	届出に必要なもの
国保に加入するとき	他の市町村から転入したとき	印かん(転入届を先にしてください)
	職場の健康保険をやめたとき (退職、被扶養者からはずれた、任意継続が切れた等)	健康保険の資格喪失日がわかるもの、印かん ・健康保険の喪失証明書 ・任意継続切れによる加入の場合は、期限切れ日が保険証に記載してあれば保険証、記載無し、または期間満了前に喪失した場合は、喪失証明書 失業保険受給中の人は、雇用保険受給資格者証
	子どもが生まれたとき	印かん
国保を喪失するとき	生活保護を受けなくなったとき	印かん
	他の市町村へ転出するとき 職場の健康保険に入ったとき (就職・扶養の認定など)	印かん、転出する人の保険証 健康保険の資格取得日がわかるもの ・職場の健康保険証 ・健康保険加入証明書 国保の保険証、印かん
	死亡したとき	印かん、保険証
その他	生活保護を受けるようになったとき	印かん、保険証
	市内で住所が変わったとき	印かん、保険証
	世帯主や氏名が変わったとき	印かん、保険証
	世帯分離または合併したとき	印かん、保険証
	保険証をなくしたとき	印かん、本人であることを証明するもの
	退職者医療制度の対象になったとき	年金証書、保険証、印かん
就学のため転出するとき	在学証明書、保険証、印かん	

※届出が遅れると、保険税は加入の資格を得た月まで遡って納めなければなりません。その間にかかった医療費は、全額自己負担となります。また、喪失の届け出が遅れ、国保の資格がなくなった後に国保の保険証を使って診療を受けた場合は、国保が負担した医療費を返していただくこととなりますので、必ず14日以内に手続きをお願いします。

●お問い合わせ 竹田市保険課 国保・高齢者医療係 ☎ 63-1111(内線 135・136・137)

登録

銃砲刀剣類登録審査会の日程をお知らせします
平成25年度銃砲刀剣類登録審査会日程

月日	時間	会場
5月8日(水)	13:00～17:00	県庁舎別館 6階61会議室
7月10日(水)	13:00～17:00	県庁舎別館 6階61会議室
9月11日(水)	13:00～17:00	県庁舎別館 8階84会議室
11月13日(水)	13:00～17:00	県庁舎別館 8階84会議室
1月8日(水)	13:00～17:00	県庁舎別館 8階84会議室
3月12日(水)	13:00～17:00	県庁舎別館 8階84会議室

※都合により会場が変更になる場合もあります。

【備考】

- 1 「銃砲刀剣類登録証」がついていない古式銃砲や刀剣類は所持できないので、必ず県教育委員会の銃砲盗塁審査会に出向き、登録証の交付を受ける必要があります。
- 2 会場には現物と発見届済証・登録手数料(1件6,300円)を持参してください。代理人でも結構です。(ただし家族以外にの代理人は、委任状が必要です)
- 3 登録証を紛失した場合は、登録証の再発行を受けなければなりません。(再交付手数料:1件3,500円)
- 4 未登録物件の所持・売買はできません。
- 5 銃砲刀剣類の登録に関するお問い合わせは、大分県教育庁文化課(☎097-506-5498)まで

運動

アフリカへ毛布を送ろう！

たった1枚の毛布が人々の命を守ります。日中の気温40℃、朝晩は3℃。アフリカの高地の1日の気温差です。厳しい自然環境の中、内戦・紛争・自然災害などにより、命や家を失うなど、現地の人々は過酷な状況に置かれています。

たとえ1枚でも、あなたが贈る愛・まごころがアフリカの人々の心と体を暖かく包むかけがえのない毛布となるのです。

彼ら住民にとっては、1枚の毛布は、私たちの「家1軒」に相当するほど貴重なものです。ご協力を切に願います。

参加には2通りの方法があります。

①毛布+海外輸送協力金

毛布1枚が日本を出発して現地の人々の手に届けられるまでに1,000円かかります。毛布をご提供くださる方は、あわせてこの1,000円もご協力ください。

②海外輸送協力金のみ

海外輸送協力金のみも、受付けております。

収集期間 4月1日～5月31日

- お問い合わせ 明るい社会づくり運動大分地区協議会
☎097-546-4115 (植田)

相談

毎月第3水曜日、無料相談会を行っています

日時 4月17日(水) 13:00～16:00

場所 大分県行政書士会

(大分市城崎町1-2-3 大分県住宅供給公社ビル3F)

内容 遺言、遺産相続、成年後見相談、不動産関連、建設業、建設業許可申請、交通事故自賠責保険金請求、内容証明、法人設立、車の登録、各種許認可申請その他

- お問い合わせ 大分県行政書士会事務局
☎097-537-7089

求人 ハローワーク豊後大野竹田職業相談室 ☎63-1101

- ①レストラン調理人1人16～21万 ②生活支援員1人13.5万 ③介護職員1人13.7～15.7万 ④事務員1人13万 ⑤携帯電話販売員1人13.5～15万円 ⑥調理スタッフ1人13.7～17.7万 ⑦トレーラー運転手1人25～30万 ⑧販売員1人13～20万 ⑨食肉加工・配達・販売員1人14万 ⑩営業職1人14.8～18.8万 ⑪クリーンクルー1人14～20万 ⑫事業推進員2人12.7万 [パート求人(時給)]
- ⑬販売5人760～860円 ⑭作業員670～750円 ⑮ホール厨房員2人700～750円 ⑯メンテナンス作業員3人700～1,000円 ⑰介護職員1人700円 ⑱ホールスタッフ3人850～950円 ⑲フラワーショップ店員1人653～700円 ⑳接客及び調理作業員3人700円 ㉑組立工1人653円 ㉒レジ・接客係1人700円 ㉓職業指導員1人900円 ㉔窓口業務1人900～1,000円

平成25年4月1日から希望者全員65歳までの雇用確保を図るための高年齢者雇用安定法が施行されます！

急速な高齢化の進行に対し、高年齢者が少なくとも年金受給開始までは意欲と能力に応じて働き続けられる環境の整備を目的として、高年齢者雇用安定法の一部が改定され、平成25年4月1日から施行されます。今回の改正は、定年に達した人を引き続き雇用する「継続雇用制度」の対象者を労使協定で限定できる仕組みの廃止などの内容です。

●お問い合わせ

ハローワーク豊後大野 ☎0974-22-8609

休日及び夜間の在宅当番医院

大久保病院 ☎ 64-7777

受付時間 平日夜間 18:00～21:00
土曜日 13:00～21:00
休日 8:30～21:00

- 注意事項
- ・かかりつけの病院がある場合は、できるだけそこで診てもらおうようお願いします。
 - ・事前に症状、年齢、その他必要事項を病院へ電話連絡したうえで受診をしてください。
 - ・症状が重い場合は救急車を呼んでください。

※竹田医師会病院でも電話で相談いただき、可能な場合は診療します。

小児科外来休日当番院

当番日	医療機関	電話番号
4月6日(土)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
	三重東クリニック(三重町)	0974-22-6333
	竹田市立こども診療所	0974-63-3838
4月7日(日)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
4月13日(土)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
	三重東クリニック(三重町)	0974-22-6333
	竹田市立こども診療所	0974-63-3838
4月14日(日)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
4月20日(土)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
	三重東クリニック(三重町)	0974-22-6333
	竹田市立こども診療所	0974-63-3838
4月21日(日)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
4月27日(土)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
	三重東クリニック(三重町)	0974-22-6333
	竹田市立こども診療所	0974-63-3838
4月28日(日)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
4月29日(月・祝)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
5月3日(金・祝)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
5月4日(土・祝)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
5月5日(日)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
5月6日(月・振替)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121

受付時間 8:30～11:30(こども診療所は9:00～11:30)
診療時間 9:00～12:00(三重東クリニックは8:30～12:00)
※土曜日については、上記以外にも診療を行っているところがあります。

- 豊後大野市民病院 (☎ 0974-42-3121)
<http://ogatahp.ddo.jp/>
- みやわき小児科 (☎ 0974-24-0230)
<http://www.miyawaki-kodomo.com/>
- 三重東クリニック (☎ 0974-22-6333)
<http://www.sekiaikai.jp/index.html>
- 竹田市立こども診療所 (☎ 0974-63-3838)
<http://www.city.taketa.oita.jp/>
- 大分県豊肥保健所 (☎ 0974-22-0162)

受診時の注意 当番院は、やむを得ず変更になる場合があります。あらかじめ当番院または竹田市消防署(☎ 63-0119)にお電話で確認されるようお願いいたします。また、院外薬局が休みの場合は、あらかじめ用意されて約束処方となる場合がありますので、ご了承ください。

歯科休日当番医院

当番日	医療機関	電話番号
4月7日(日)	久住加藤病院歯科診療部(久住)	0974-76-0008
4月14日(日)	長湯ごとう歯科(直入)	0974-75-3001
4月21日(日)	竹田市荻歯科診療所(荻)	0974-68-3263
4月28日(日)	竹下歯科医院(竹田)	0974-62-2662
4月29日(月・祝)	長湯ごとう歯科(直入)	0974-75-3001

※診療時間 9:00～12:00(受付 11:30 まで)
※診療時間を確認のうえ、受診してください。

○大分県歯科医師会 ☎ 097-545-3151
<http://www.oita-dental-a.or.jp/>



竹田の話題がまるごと観れるのは TCT だけ!!

平成 24 年度史跡岡城跡保存修理事業 報告会「岡城再生を探るⅡ」

放送日 4月6日、13日、20日、27日、5月4日
土曜日 20:00～

3月17日に開催された、平成24年度史跡岡城跡保存修理事業報告会の模様をお届けします。岡城再生について、この機会と一緒に考えてみませんか。

※都合により放送時間を、変更する場合がありますのでご了承ください。

●お問い合わせ
竹田市ケーブルネットワークセンター ☎ 76-1415



エフエム大分「ラジオミュージアムたけた」放送終了! 竹田市民の皆様1年間お世話になりました!

竹田の旬な情報をお送りしてきた「ラジオミュージアムたけた」が3月27日、1年間の放送を無事終了しました。市内のイベントや取材等でお世話になり、思い出は尽きません。これからも竹田を第2の故郷として、いろんなところで宣伝しつづけます! またいつかお会いしましょう! (スタッフ一同)